

エコアクション21 環境経営レポート

第57期

(2023年10月～2024年9月)

発行日 2024年10月30日
株式会社 カンサイ



ご挨拶	2
01. 会社概要・沿革等	3~4
02. 環境方針等	5
03. 推進体制並びに責任と権限	6
04. カンサイの主な設備	7
05. 地球温暖化問題とカンサイ	8
06. カンサイにおけるSDGs	8
07. 57期の環境活動計画	9
08. 環境負荷の実績と考察53期~57期	10~11
09. 中期目標（58期~60期）	12
10. 57期取り組み実績	13~14
11. 57期カンサイの取り組みと実績・評価	15~16
12. 57期営業部の取り組みと実績・評価	17~18
13. 57期本社工場の取り組みと実績・評価	19~23
14. 57期倉橋工場の取り組みと実績・評価	24~27
15. 57期業務部の取り組みと実績・評価	28~30
16. 57期環境計量室の取り組みと実績・評価	31~32
17. 57期総務部の取り組みと実績・評価	33~34
18. 57期の取り組み(教育)	35~37
19. 情報公開（許可一覧等）	38~41
20. 情報公開（環境関連法規・訴訟の有無）	42
21. 情報公開（取り組み）	43~44
22. リサイクル製品	45
23. 58期の環境活動計画	46
24. 第三者意見	47
25. 代表者による全体評価と見直しの結果	48
26. 編集後記	48

原点

株式会社カンサイは、1968年の創業以来「人と人との調和 人と自然との調和を大切に」という考えのもと、廃棄物処理業・リサイクル業を追求してきました。

また、2013年4月、企業理念として、

全従業員の物心両面の幸せを追求するとともに、
併せて人類と自然との調和を大切にする

を制定しました。これは株式会社カンサイの企業活動の原点であり、判断や行動の拠り所になるものです。目先の利益にとらわれるのではなく、全社員が人として何が正しいのかを基準に考え行動し続けることにより、安心・安全なサービスを提供できると考えています。

創意工夫

株式会社カンサイは、「廃棄物処理」を起点に事業を拡大してきました。また自然環境の保全、資源の有効利用を推進する循環型社会基本法、個別物品に応じたリサイクル関連法が制定されました。さらに最近では脱炭素化に向けた動きもさかんです。そうした社会背景から、当社に廃棄物処理をご依頼くださるお客様のニーズも多様化しています。車両の更新、廃棄物処理施設・リサイクル施設の高度化は元より、ニーズにお応えするための技術革新、そして進化をもたらす人材育成に努め、社会からの期待に応え、さらなる成長をめざしていきます。

調和

株式会社カンサイは、「人・社会・環境」との調和を図ることで、社会から存在意義を認めていただける企業であり続けたいと考えています。工場見学者の受入、情報開示、地域交流や協賛を長期に渡って取り組んでまいりました。

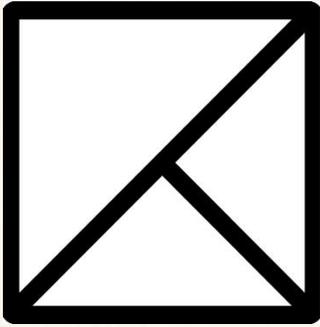
また、社会貢献活動の一環として、平成17年に循環型農園「きなり村」を開設いたしました。食に対する関心が高まっている中、当社のリサイクル製品である肥料を使用し、化学肥料や農薬を使用しない有機農法によって作物を栽培し、都市部へ循環させるという取り組みを行っています。

これからも「人と自然との調和を大切に」し、社会との共生を図り、「環境創造総合企業」として社会の持続的発展に貢献し続けたいと考えています。

株式会社 カンサイ
代表取締役

川本 義二





企業理念ある「人・社会・環境の調和」をモチーフとしたシンボルマークです。

「人・社会・環境」の3つのキーワードを、それぞれ、動きや勢いを感じさせる大小の三角形で表しています。

三つの三角形の調和を実現し、安定した世界を創造していく。

その企業の想いを、KANSAIの「K」や「人」の文字で示しています。

会社概要

対象範囲（本社・倉橋工場）

会社概要

会社名	株式会社カンサイ
所在地	広島県広島市佐伯区五日市町大字石内460番地 TEL：(082) 941-1641 FAX：(082) 941-1715
代表者	代表取締役 川本 義二
環境管理責任者	取締役 北川 貴伸
従業員数	40名
敷地面積	13,838㎡
資本金	18.4百万円
中間処理量	第57期 12,992 t
収集運搬量	第57期 5,798 t
売上高	第57期 815百万円
URL	https://ekansai.co.jp
本社工場	広島市佐伯区五日市町大字石内460番地
倉橋工場	呉市倉橋町宇田野尻山935



カンサイの歴史

アポロ11号月面着陸

広島東洋カーブ初優勝

(グリコ・森永事件)
かいじん21面相

広島神社が原爆ドーム
世界遺産

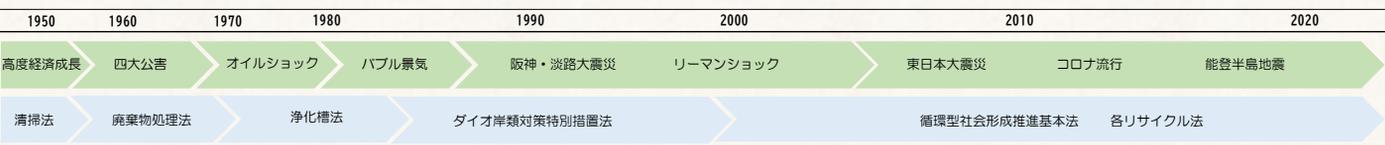
ワールドカップ日韓共催



広島土砂災害

広島東洋カーブ三連覇

新型コロナウイルス流行



- | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|-------------------|----------------|----------|---------|-------------|----------|---------------|--------------|-----------|-----------|---------------|---------------|----------|---------------------|--------------|---------|
| 1968年 | 1972年 | 1979年 | 1982年 | 1985年 | 1991年 | 1997年 | 1998年 | 2000年 | 2005年 | 2008年 | 2010年 | 2013年 | 2014年 | 2015年 | 2022年 | 2023年 |
| 関西特殊産業株式会社設立 | 産業廃棄物の収集運搬処理の許可所得 | ロータリーキルン式焼却炉設置 | 環境計量室を新設 | 倉橋工場を新設 | 回転炉床式焼却炉を新設 | 川本義勝社長就任 | 株式会社カンサイに社名変更 | ISO14001認証取得 | きなり村をオープン | 地域住民見学会開始 | エコアクション21認証取得 | 社員教育「環境力道場」開始 | 川本義二社長就任 | 回転炉床式焼却炉にバグフィルターを設置 | 回転炉床式焼却炉改修工事 | 一軸破砕機設置 |



事業内容

【営業項目】

- 一般廃棄物の収集運搬及び処理・再生に関する事業
- 産業廃棄物の収集運搬及び処理・再生に関する事業
- 特別管理産業廃棄物の収集運搬及び処理に関する事業
- 土木建設業に関する事業
- 下水汚泥の収集運搬及び処理・再生に関する事業
- リサイクル肥料の製造販売
- 管洗浄及び下水、排水等各ピットの清掃に関する事業
- 上下水道の調査、修繕に関する事業
- 環境計量証明に関する事業



社 是

人と人との調和
人と自然との調和を大切に

企業理念

全従業員の物心両面の幸せを追求するとともに
併せて人類と自然（全人類 大自然）との調和を大切にする

環境方針

「人と自然との調和を大切に」

私たちは、人と自然との調和を大切にし、地域社会と利害関係者とのふれ合いを図り、技術と知恵と勇気を持って環境問題に積極的に取り組み、広く社会に貢献できる企業を目指します。

行動指針

私たちは省エネ・省資源をはじめ、地球環境の保全と、資源の有効利用に弛まない努力と創意工夫を行い地域社会の一員として健全なる社会の発展に貢献いたします。

基本方針

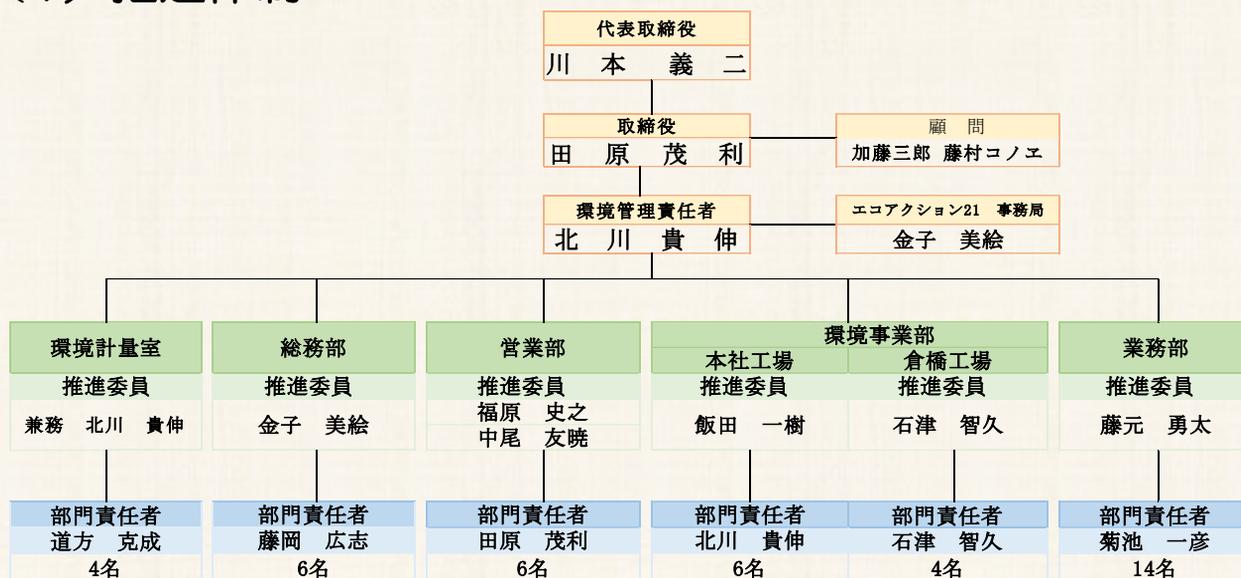
1. 資源の節約と再利用を促進し、環境と資源の保全に努めます。
 - CO₂排出量の低減や森林資源の保護、バイオマス利活用によるCO₂吸収、エネルギーの有効活用等に寄与します。
 - 廃棄物の削減、資源化率の向上を推進いたします。
 - 資源循環の技術開発を積極的に推進いたします。
2. 事業に関連する全ての法律を遵守します。
3. 環境マネジメントシステムの効率的な運用を行い、環境負荷の低減に努めます。
4. 情報はホームページ、電子掲示板、ポスター等により、全ての関係者に広く公開いたします。

制定 2009年10月1日
改訂 2014年 3月1日

株式会社 カンサイ

代表取締役 川本 義二

(1) 推進体制



当社はエコアクション21推進委員会を中心とした体制で、環境対応に取り組んでいます。

(2) 責任と権限

責任及び権限	
統括 (代表取締役)	①環境方針の策定と全従業員への周知 ②環境管理責任者の任命 ③運用に必要な人材、設備、時間の準備 ④全体の取組み状況の評価、見直し
環境管理責任者	①環境活動の取組み結果を代表者へ報告 ②環境力道場の開催
エコアクション21 推進責任者	①エコアクション21事務局の統括 ②一般教育の計画、実施 ③環境力道場の運営
エコアクション21 事務局	①環境データの集計、取りまとめ ②環境関連文章及び記録の管理 ③外部からの環境に関する苦情、要望の受付及び対応
推進委員	①各部門における環境活動の管理 ②環境活動の実績の把握と事務局への報告
部門責任者	①自部門の環境活動の責任 ②実務教育・訓練（専門教育）の計画、実施
全従業員	①環境方針の理解と環境はの取組みの重要性を自覚 ②決められたことを守り、自主的、積極的に環境活動へ参加

本社工場の設備



【回転炉床式焼却炉】

主に医療系廃棄物などの産業廃棄物の焼却を行っている設備 6.6t/日



【ロータリーキルン式焼却炉】

下水汚泥や有機汚泥などの一般廃棄物及び産業廃棄物の焼却を行っている設備 4.9t/日



【固化設備】

無機汚泥のセメント固化を行っている設備 50m³/日



【安定化設備】

有害汚泥の無害化を行っている設備 4t/日



【破碎設備】

廃棄物を粉碎する設備 4.4t/日他



【排水処理設備】

工場排水を浄化し再利用水にしている設備

倉橋工場の設備



【混合設備】

下水・し尿汚泥と種汚泥（発酵処理が進んだ汚泥）を混合、破碎する設備



【一次発酵設備】

好気性発酵による高温下で汚泥中の病原菌や雑草種子を死滅させる設備 70t/日



【二次発酵設備】

窒素飢餓を生じないように易分解性有機物を十分に発酵させる設備



【袋詰め設備】

発酵処理終了後、製品化された肥料を袋詰め、パレット積みする設備

05 地球温暖化問題とカンサイ

私たちカンサイは、廃棄物処理を通して温暖化によるリスク軽減の取り組みを行っています。



【大都市の洪水】
工場内の一次貯留にて
河川への流入量調整



【漁業への影響】
下水処理場及び卸売市場の排水清掃でマイクロプラスチック流出防止



【インフラの機能停止】
リスク調査とバックアップ体制の構築



【食料不足】
自社農園「きなり村」の利活用



【熱中症】
社員への空調服と飲料支給、休養室の完備



【海面上昇・高潮】
化石燃料使用量を削減する取り組み



【水不足】
こまめな節水と施設排水の再利用

06 カンサイにおけるSDGs



SDGs (Sustainable Development Goals) とは、ほとんど全ての国連加盟国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた17項目の持続可能な開発目標です。SDGsは、先進国と途上国が一丸となって達成すべき目標で構成されていることが特徴です。

カンサイは、産業廃棄物の処理とリサイクルを担ってきたことで、持続可能な開発に長年貢献をしてきました。これからも様々な活動を通じてSDGsに取り組んでいきます。



年1回の全社員の健康診断と、有害物質取扱業務のある本社工場・倉橋工場は年2回の実施と健康経営の推進



社内報や家族会開催で家族的経営を目指す



環境力道場で知識を知恵に変え実働にいかすなど、各種の研修を通して、会社の宝である社員の意識向上を図る



清掃活動を通して地域貢献



全社員がセクハラ・パワハラ研修を受け撲滅に努めている



リサイクル肥料製造と販売で環境にやさしい肥料を提供、グリーン購入で環境配慮商品の購入管理



全自社工場で使用する水の節水に努める他、自治体の上下水処理場清掃で水資源管理に貢献



化石燃料使用量を削減しCO₂排出量を抑制する

重点取り組み	目標	活動内容	実施時期	該当部門
	個人の成長と健康経営	数値目標を掲げて取り組み四半期ごとに検証する	通年	全社員
		カンサイ理念手帳を浸透させる		
	ハラスメントの撲滅	相談窓口の運用	通年	全社員

- ※仕事をすするうえで、「健康経営」をテーマに抱負を掲げ進捗状況を検証し、各自の成長に向けた取り組みをしていきます。
- ※57期も引き続き、環境力道場を開催して、社員のレベルアップと共通認識を図ることに重点を置いた社員教育に取り組みます。
- ※セクハラ・パワハラの撲滅に取り組みます。

環境	(1) 回転炉床・ロータリーキルンの重油使用量の削減 回転炉床電力使用量の削減	管理体制の強化、随時改善する プラント運転管理者の技術の向上	通年	本社工場
	(2) 業務車両・建設工事のガソリン・軽油使用量の削減	ドライブレコーダーの運用	通年	業務部
		管理体制の強化		
	(3) 営業車両のガソリン使用量の削減	エコ運転の教育・徹底	通年	営業部
	(4) 重機の軽油使用量の削減 電力使用量の削減	点検マニュアルの改善	通年	倉橋工場
		管理体制の強化		
	(5) 事務所電力使用量の削減	こまめな節電	通年	総務部
(6) 燃え殻・汚泥・肥料・排水維持管理	分析及び各部署への伝達	通年	環境計量室	
(7) グリーン購入率の向上	エコ商品購入品の推奨と管理	通年	総務部	
環境改善	(1) ムリ・ムダ・ムラの排除	仕事内容の精査と見直し	通年	全社員
	(2) 場内全域の環境対策	鳥獣被害防止対策・飛散防止対策	通年	本社工場
		設備更新の実施		
	(3) 施設の改善	作業環境と効率アップの設備配置の検討	通年	倉橋工場
	(4) 在庫管理の強化	搬入物の管理による処理計画と実施	通年	本社工場 倉橋工場
(5) 各環境測定の実施	ダイオキシン測定ほか	通年	本社工場	
(6) 交通事故防止	事故事例の再検証と啓発活動	通年	業務部	
コミュニケーション	(1) ステークホルダーからの要望への対応	お客様の要望・意見・提案を回覧と共有	通年	全部署
	(2) 社員とのつながり	毎月誕生日の人をお祝いする	通年	総務部
		永年勤続者の表彰		
	(3) 家族とのつながり	社内報の内容を充実させる	年2回	営業部
		家族見学会の企画・実施	6月	総務部
	(4) ステークホルダーとのつながりの拡充	地域清掃活動への参加	通年	営業部
	(5) 見学者の受け入れ拡充	部署間での事前協議	通年	営業部
(6) 福利厚生拡充	社内サークルの運営	通年	実行委員	
(7) 積極的な情報公開	ホームページの充実	通年	総務部	
教育	(1) 自社活動内容の理解度向上	年1回全体教育の実施	5月	EA21事務局
	(2) 資格取得へのチャレンジ	リストアップと計画取得	通年	全部署
	(3) 知識の向上	環境力道場の開催、随時各講習会	通年	全部署
	(4) 緊急事態（自然災害）への対応	自然災害へのリスク調査（中期計画） 火災訓練等の実施	通年	全部署
安全衛生	(1) 1年間無事故無災害	指差し確認の徹底と啓発	通年	本社工場 倉橋工場
	(2) 交通事故の防止	事故事例の再検証	通年	業務部
	(3) 飲酒運転禁止	アルコールチェッカーの運用（基準値0mg）	通年	業務部
	(4) 5S活動の推進 （整理・整頓・清掃・清潔・躰）	一仕事一片付けの推進	通年	全部署
毎週金曜日の清掃活動				
(5) 安全衛生協議	月次報告会の運用	月/1回	EA21事務局	
情報公開	(1) 廃棄物処理法の遵守	収集運搬業、処分業の許可更新	通年	全部署
	(2) 関連法規の遵守	関連書類の提出と保管	通年	全部署
	(3) 環境活動レポートの発行	11月初旬に56期版を発行	9～10月	EA21推進メンバー

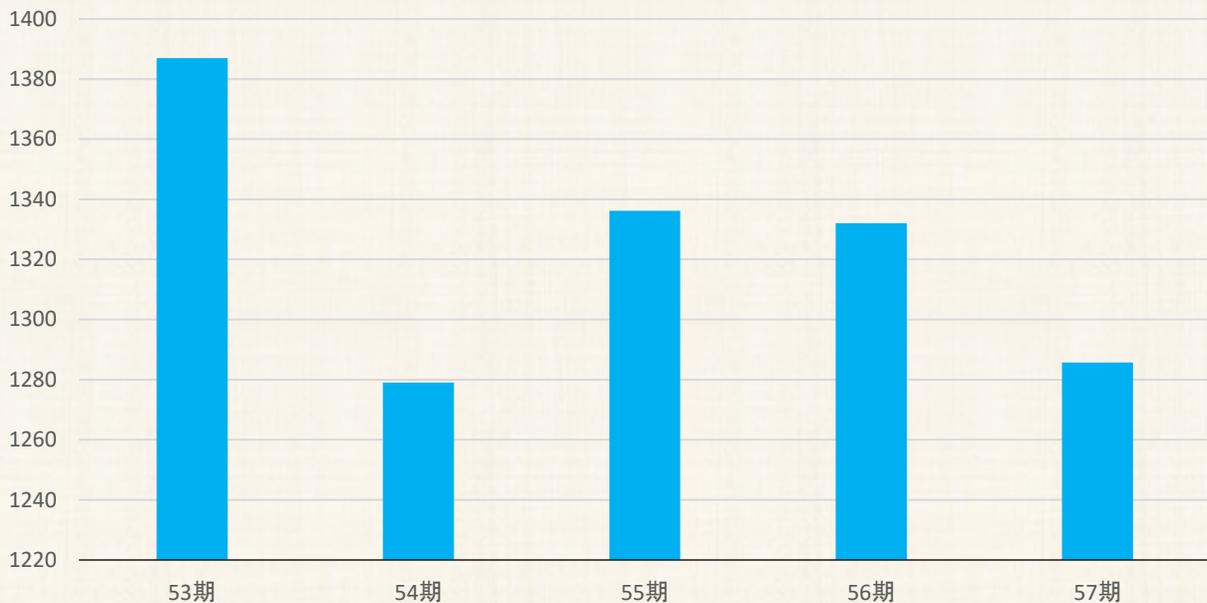
(1) 実績

		単位	53期	54期	55期	56期	57期	排出係数	単位	57期CO ₂ 排出量
二酸化炭素等総排出量	電力 (本社工場・倉橋工場)	kWh	641,849	643,179	801,597	806,069	794,552	* 0.585	t-CO ₂	464.8
		前年対比%	7%↓	0.2%↑	24.6%↑	0.6%↓	1.4%↓			
	電力 (事務所・休憩所)	kWh	83,586	82,757	87,897	84,733	84,524	* 0.585	t-CO ₂	49.4
		前年対比%	1%↓	1%↓	6.2%↑	3.6%↓	0.2%↓			
	灯油	ℓ	90	-	-	-	-	2.50	t-CO ₂	0.0
		前年対比%	55%↓	-	-	-	-			
	A重油	ℓ	172,522	167,183	163,953	163,272	148,178	2.75	t-CO ₂	407.5
		前年対比%	12%↑	3%↓	1.9%↓	0.4%↓	9.2%↓			
	LPG	kg	254	332	222	274	166	2.99	t-CO ₂	0.5
		前年対比%	26%↓	30%↑	33.1%↓	23.4%↑	39%↓			
ガソリン	ℓ	11,976	9,942	10,191	10,728	11,067	2.32	t-CO ₂	25.7	
	前年対比%	2%↓	17%↓	2.5%↑	5.3%↑	3.2%↑				
軽油	ℓ	147,806	140,178	130,821	130,728	126,484	2.62	t-CO ₂	331.4	
	前年対比%	4%↓	5%↓	6.7%↓	0.1%↓	3.2%↓				
建設業	t-CO ₂	10.4	9.0	3.2	0	6.3		t-CO ₂	6.3	
	前年対比%	39%↑	13%↓	64.7%↓	-	640%↑				
合計	t-CO ₂	1,387	1,279	1,336.2	1,332.3	1,285.6		t-CO ₂	1,285.6	
	前年対比%	0.1%↓	8%↓	4.5%↑	0.3%↓	3.5%↓		前年対比%	3.5%↓	
総排水量 (事務所・倉橋工場)	m ³	981	934	903	952	901		m ³	901	
	前年対比%	18%↓	5%↓	3.3%↓	5.4%↑	5.4%↓		前年対比%	5.4%↓	
廃棄物排出量	t	5,077	4,756	4,921	4,691	4,556		t	4,556	
	前年対比%	0.8%↓	6%↓	3.5%↑	4.7%↓	2.9%↓		前年対比%	2.9%↓	
化学物質使用量	セメント使用量 (本社工場)	t	1,737	1,180	1,384	1,250	1,208		t	1,208
	前年対比%	13%↓	32%↓	17.3%↑	9.7%↓	3.4%↓	前年対比%		3.4%↓	
	苛性ソーダ使用量 (本社工場)	ℓ	80,000	88,000	-	-	-		ℓ	-
	前年対比%	12%↓	10%↑	-	-	-	前年対比%		-	
	PAC使用量 (本社工場)	ℓ	2,400	900	360	540	2,520		ℓ	2,520
	前年対比%	4%↓	63%↓	60%↓	50%↑	367%↑	前年対比%		367%↑	

※二酸化炭素排出量は、エネルギー種類ごとに消費量×二酸化炭素排出係数×を掛け合わせた数字です。この表では各期の消費量の実績と57期二酸化炭素排出量を掲載しています。

※53期は排出係数（中国電力0.694kg-CO₂/kWh）を使用しています。

※54期～56期は、最新排出係数（中国電力0.585kg-CO₂/kWh）を使用します。

二酸化炭素総排出量 t-CO₂

(2) 考察

二酸化炭素総排出量は、前期より46.6 t-CO₂削減しました。

本社工場は、回転炉床式焼却炉前処理の破碎機を、更新したことにより投入ロスが改善され、燃焼効率が格段に上がったことで前期よりA重油使用量では56.6 t-CO₂減少し、電力使用量も11.6 t-CO₂減少しました。しかし、ロータリーキルン式焼却炉は、目立った設備の更新などはなく前期より12.7 t-CO₂の増加となりました。

倉橋工場は、今までの経験を元に年間処理計画を立てて作業を行った結果、搬入量が増えたにも関わらず軽油使用量は、4.2 t-CO₂減少し電力使用量は1.6 t-CO₂減少しました。

業務部は、前期より5.7 t-CO₂削減できました。年間走行距離が18,023km増えたましたが、収集ルートの見直しや車両管理を強化した取り組み成果が身を結びました。

営業部は、車両を2台入替を行いました。県外の営業活動に力をいれたことで、前期より燃料使用量が0.6 t-CO₂増加しました。

総務部は、前期に比べCO₂排出量の増減はありませんでした。取り組みとしてまだLED化できていなかった事務所2階の調査をし期末に実施しました。

全体では、前期より46.6 t-CO₂の削減ができました。要因として、ここ数年頭打ちになっていた回転炉床式焼却炉の削減が大きく影響しました。焼却炉付帯設備の更新によりかなりの効果ができました。この成功体験を各部署に波及させ、CO₂削減のため化石燃料や電力使用削減だけにフォーカスせず、設備投資によってもたらされる効果をトータルで考えるように、今後は取り組んでいきます。

(2) 中期環境目標

担当部署	責任者	取り組み事項	58期 (2024年10月 ～2025年9月)	59期 (2025年10月 ～2026年9月)	60期 (2026年10月 ～2027年9月)
全体	北川	CO ₂ 総排出量	1,298.0	1,285.0	1,272.0
		CO ₂ 排出量の削減 (基準年50期～52期平均)	0.06%削減	0.07%削減	0.08%削減
本社工場	飯田	回転炉床A重油使用CO ₂ の削減 (t-CO ₂)	197.2	197.2	197.2
		回転炉床A重油使用量の削減 (ℓ)	72,777	72,777	72,777
		ロータリーキルンA重油使用CO ₂ の削減 (t-CO ₂)	184.6	184.6	184.6
		ロータリーキルンA重油使用量の削減 (ℓ)	68,139	68,139	68,139
		回転炉床電力使用CO ₂ の削減 (t-CO ₂)	238.7	238.7	238.7
		回転炉床電力使用量の削減 (kWh)	343,930	343,930	343,930
		水使用量の削減 (m ³)	23,965	23,725	23,488
業務部	藤元	業務車両CO ₂ 排出量の削減 (t-CO ₂)	241.7	239.3	236.9
営業部	福原	営業車両CO ₂ 排出量の削減 (t-CO ₂)	19.1	18.9	18.7
		営業車両ガソリン使用量の削減 (ℓ)	8,233	8,140	8,060
事務所	山田	電力使用CO ₂ 排出量の削減 (t-CO ₂)	30.9	30.6	30.3
		電力使用量の削減 (kWh)	52,821	52,308	51,795
倉橋工場	石津	倉橋工場軽油使用CO ₂ 排出量の削減 (t-CO ₂)	72.4	71.7	71.0
		倉橋工場軽油使用量の削減 (ℓ)	27,634	27,325	27,099
		倉橋工場電力使用CO ₂ 排出量の削減 (t-CO ₂)	98.9	97.9	96.9
		倉橋工場電力使用量の削減 (kWh)	169,060	167,350	165,641
		水使用量の削減 (m ³)	283	280	277
本社工場	飯田	化学物質(セメント)使用量の削減 (t)	1,824	1,824	1,824
		化学物質(PAC)使用量の削減 (ℓ)	1,000	1,000	1,000
建設業	藤元	エネルギー使用量の削減 (kg-CO ₂)	8679	8592	8506
		廃棄物のリサイクル	全量	全量	全量

※基準年を50期から52期の過去3年の平均値を基に見直しをして選定しています。

※倉橋工場・事務所は52期を基準年としています。

※建設工事の目標は52期～54期の平均値を基準値としています。

※化学物質使用量目標値は49期～52期の平均値を基準値としています。

※58期以降は(中国電力公表値)最新の排出係数を使用し、3年ごとに見直しをします。

※目標に対する実績が未達成の場合、その実績を基に見直しを検討します。

※本社工場の目標はこれ以上のCO₂排出量を増やさないことを目標に努めていきます。

※全体CO₂総排出量は各部署取り組み事項以外の企業活動全体を含みますので、カンサイ全体の数値とは一致しません。

本社工場

資源

A重油 (ℓ)	148,178
電力 (kWh)	666,673
軽油 (ℓ)	19,433

産業廃棄物 (t)

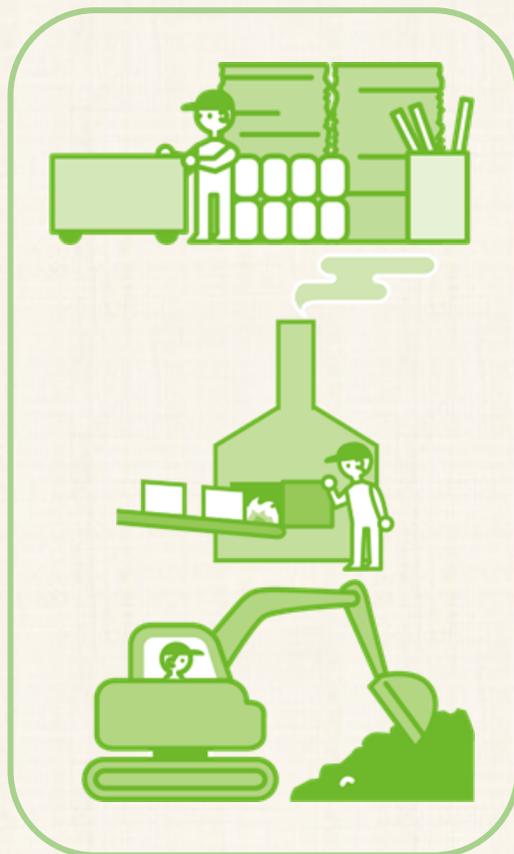
汚泥	5,197
廃プラ	1,166
感染性	582
動植物性残渣	414
廃アルカリ	51
金属	95
有害汚泥	394
その他	568

化学物質

セメント (t)	1,208
PAC (ℓ)	2,520

水投入量 (m³)

用水	16,458
----	--------



CO₂排出量

848.4t-CO₂

産業廃棄物排出量 (t)

最終処分場

汚泥	4,038
燃え殻	180
その他	338

再資源化

堆肥	65
金属くず	195
木くず	47
紙くず	41
廃プラ	171
汚泥	50
その他	157

排水

全量再利用

*本社工場は、リサイクルが困難な廃棄物を積極的に受入れています。従ってリサイクル率が13.7%（56期15.3%）と低いのですが、今後もリサイクル困難廃棄物を可能な限り分別してリサイクル率向上に努めます。

業務部

資源

軽油 (ℓ)	85,535
ガソリン (ℓ)	3,224

資源

軽油 (ℓ)	2,422
--------	-------

収集運搬量 (t) 5,798



CO₂排出量

237.9t-CO₂

営業部

資源

ガソリン (ℓ)	7,843
----------	-------



CO₂排出量

18.2t-CO₂

倉橋工場

資源

電力 (kWh)	127,879
軽油 (ℓ)	21,516
水 (ℓ)	276

→

廃棄物受入量 (t)

4,525



CO₂排出量

131.2t-CO₂

肥料製造 (t) 295

本社事務所・休憩所

資源

電力 (本社事務所)	(kWh) 53,842
電力 (休憩所)	(kWh) 30,682
水道水 (ℓ)	625
LPG (kg)	166

→



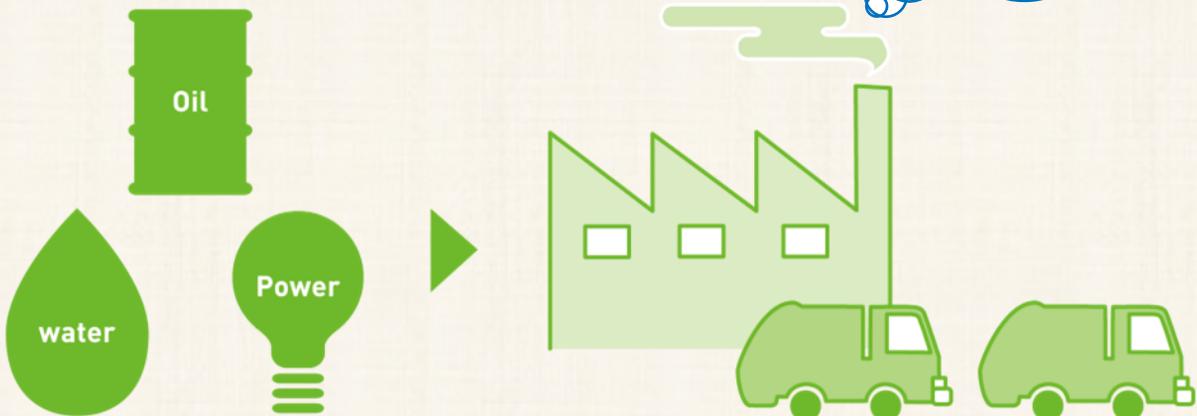
CO₂排出量

49.9t-CO₂

廃棄物 990kg

*全量リサイクル

カンサイ全体の環境負荷



私たちカンサイは、人の良いところを見て、感謝の言葉ありがとうで溢れる会社を目指しています。



(1) カンサイ全体の取り組み

目標	活動内容	実施時期
個人の成長と健康経営	数値目標を掲げて取り組み四半期ごとに検証する カンサイ理念手帳を浸透させる	通年
ハラスメントの撲滅	相談窓口の運用	通年



【取り組み】

- 年始めに、各々にみあった健康数値目標を掲げて取り組みを行いました。
- 第7期環境力道場参加者を中心に、カンサイ理念手帳の浸透に努めました。
- ハラスメント撲滅のため、顧問弁護士に相談できる体制を整えて運用をしました。

【実績・評価】

- 多くの社員が、目標達成に向け順調に取り組んでいます。
- カンサイ理念手帳は、環境力道場参加者には浸透できましたが、全社員に浸透するには至りませんでした。
- ハラスメント撲滅は、相談件数は0人でした。

【今後】

- 理念手帳作成以降に入社した社員中心となり、見直しと深掘りをして浸透を図ります。
- ハラスメント撲滅は、今後もコミュニケーションを図り、被害者が出ないようにします。

【SDGs】

- SDGs 3「すべての人に健康と福祉を」に取り組むため、健康経営に取り組みました。
- SDGs 4「質の高い教育をみんなに」に取り組むため、カンサイ理念手帳の浸透を図りました。
- SDGs 5「ジェンダー平等を実現しよう」に取り組むため、第三者機関を設けて運用しました。



登山同好会の様子

健康チャレンジ	
<p>健康経営 実施工程</p> <p>① 健康経営の推進体制の構築 ② 健康経営の推進体制の構築 ③ 健康経営の推進体制の構築 ④ 健康経営の推進体制の構築 ⑤ 健康経営の推進体制の構築 ⑥ 健康経営の推進体制の構築 ⑦ 健康経営の推進体制の構築 ⑧ 健康経営の推進体制の構築 ⑨ 健康経営の推進体制の構築 ⑩ 健康経営の推進体制の構築</p>	<p>健康経営 実施工程</p> <p>① 健康経営の推進体制の構築 ② 健康経営の推進体制の構築 ③ 健康経営の推進体制の構築 ④ 健康経営の推進体制の構築 ⑤ 健康経営の推進体制の構築 ⑥ 健康経営の推進体制の構築 ⑦ 健康経営の推進体制の構築 ⑧ 健康経営の推進体制の構築 ⑨ 健康経営の推進体制の構築 ⑩ 健康経営の推進体制の構築</p>

(2) カンサイ全体の取り組み【環境改善】

【取り組み】

- 創業間もなくから使用し老朽していた、現場作業員の休憩所のリフォームと業務部倉庫の移設工事を実施しました。
- SDGs 8「働きがいも経済成長も」に取り組むため、休憩所のリフォームを行いました。

【感想】

- シャワールームがきれいになり、仕事終わり毎日すっきりして帰宅でき気持ちがいいです。
- 女子更衣室が設けられてプライベート空間が確保できてうれしいです。
- 洗濯場が整備されて、作業着を洗濯できて翌日には気持ち新たに仕事に取り組みます。
- 昼休憩時間を快適に過ごせるようになりリラックスできるようになりました。
- 職場の清潔感が感じられて、前向きな気持ちになります。
- 倉庫内が整理整頓できて、工具等の場所が明確になり作業がスムーズになりました。
- 5Sの意識が向上したように思います。

【工事請負業者の感想】

- カンサイの皆様が、工事期間中から楽しみにして下さっていることをひしひしと感じながら工事をできたことが喜びでした。また、引き渡し後もシャワールームや玄関などきれいに使用されていることが見受けられて工事を請け負い大変うれしく思います。今後も、カンサイの皆様と協力できることがありましたら、頑張らせてもらいます。



今田社長

リフォーム工事の様子



リフォーム後の休憩所



ロッカールーム



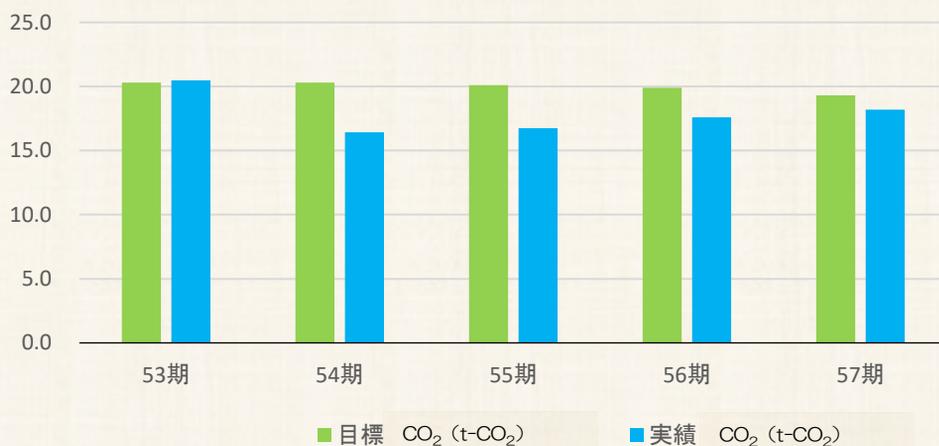
シャワールーム

私たち営業部は、会社とお客様を結びつけ、顧客が抱えている課題を解決に導き、お客様満足度の向上を目指します。



(1) 営業部の取り組み【環境負荷】

目標	活動内容	実施時期
営業車両のガソリン使用量の削減	エコ運転の教育・徹底	通年
目標数値	実績	CO ₂ 削減率
19.3 t-CO ₂ (8,319ℓ)	18.2 t-CO ₂ (7,843ℓ)	6%減



【取り組み】

- 月末に各営業車の走行距離を集計、ガソリン使用量・燃費を確認し、先月との比較を行いました。
- ガソリン使用量削減を目的として、定期的なタイヤの空気圧チェックを行いました。
- 営業の効率化と無駄な走行の低減の為、営業の帰り便を利用して廃棄物の小口収集を行いました。
- 各自週間行動計画表を作成し、営業場所への効率的なルートを選定し、エリアを集中して営業しました。

【実績・評価】

- 目標19.3t-CO₂に対して、18.2t-CO₂と目標達成できました。
- 週間行動計画を部内で共有することで、計画的な営業ができて使用量も削減できました。
- 営業車両を2台入れ替えました。

【今後】

- 無駄な走行を無くし、定期的な車両更新でCO₂削減を目指していきます。

【SDGs】

- SDGs 目標13「気候変動に具体的な対策を」に取り組むため、ガソリン使用量を削減してCO₂排出量の削減に努めました。



営業部 福原課長



入替した営業車両

(2) 営業部の取り組み【コミュニケーション】

目標	活動内容	実施時期
家族とのつながり	年2回発行の社内報を充実させる	通年
ステークホルダーとのつながりの拡充	地域清掃活動への参加	通年
ステークホルダーからの要望への対応	お客様の要望・意見・提案を回覧と共有	通年



清掃活動の様子



見学者対応の様子



野球観戦の様子

【取り組み】

- 社内報「春夏秋冬」を年2回発行し、社員の各家庭及び関係者に郵送しました。
- 地域の環境美化に貢献する為、月に1回、会社周辺道路の清掃活動を継続して実施しました。
- 排出事業者を主とした見学者を受け入れました。

【実績・評価】

- 社内報は年2回継続して発行しました。社内でのイベントや環境問題に関する情報を発信する事で、ご家族の皆様にも興味を持ってもらえるよう工夫しました。
- 会社周辺道路の清掃活動については毎月1回行い、年間可燃ごみ約44kg、空き缶約5kgを回収しました。
- 広島カーブ観戦を企画し、多くの社員とのコミュニケーションがとれました。
- 31社70名様の方が見学されました。56期に比べ3社6名ほど多くの方が施設見学に来られ、排出者・処理業者として様々な情報交換を行う事ができました。

【今後】

- 年2回の社内報「春夏秋冬」の発行を継続していきます。社員の働きがいやモチベーションを高め、ご家族の皆様には、会社の事や社内の雰囲気などが伝わるよう工夫していきます。
- 地域清掃活動については、地域社会の一員として、環境美化に取り組むため今後も月1回の清掃活動を継続していきます。
- 見学者の受け入れについては積極的にいき、安心頂けるよう施設見学の内容を工夫し情報公開を行っていきます。

【SDGs】

- SDGs 目標8「働きがいも経済成長も」に取り組むため、社内報でコミュニケーションを図りました。
- SDGs 目標11「住み続けられるまちづくりを」に取り組むため、地域の環境美化に貢献するため、月に1回、会社周辺道路の清掃活動を継続して実施しました。



営業部 中尾主任

57期は、CO₂排出、燃料使用量削減目標を達成することが出来ました。週間行動計画作成によりある程度無駄が省けた事と営業車2台代替による効果が出たものと思われます。今後も予想される極端な気候に対応する為、冷房、暖房の活用や衣服の調整などで工夫をしつつ、計画的な営業活動によりCO₂排出削減を目指していきます。

また58期は施設見学案内方法見直しなどで、ステークホルダーとのコミュニケーションをより深められるよう努めてまいります。



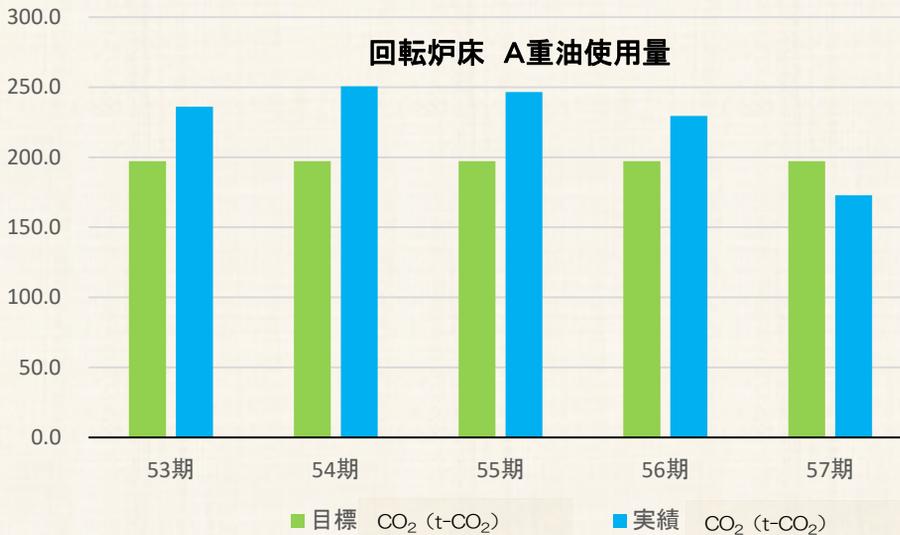
営業部 橋本次長

私たち本社工場は、廃棄物の適切処理と関連法規を遵守し、環境負荷の低減を目指します。



(1) 本社工場の取り組み【環境負荷低減】

目標	活動内容	実施時期
回転炉床・ロータリーキルンの重油使用量の削減	管理体制の強化、随時改善する	通年
回転炉床電力使用量の削減	プラント運転管理者の技術向上	
施設用水使用量の削減	排水処理施設の維持管理	
目標数値	実績	CO ₂ 削減率
回転炉床重油 197.2 t-CO ₂ (72,777 ℓ)	173 t-CO ₂ (62,900 ℓ)	12%減
ロータリーキルン重油 184.6 t-CO ₂ (68,139 ℓ)	234.5 t-CO ₂ (85,278 ℓ)	27%増
回転炉床電力 238.7 t-CO ₂ (343,930 kWh)	225.7 t-CO ₂ (385,861 kWh)	5%減
水 24,207m ³	16,458m ³	32%減



【取り組み】

- 運転時の使用量を記録して、月末に進捗状況の見直しを行いました。
- 汚泥の在庫量の管理を強化し、効率の良い運転管理に努めました。

【実績・評価】

- 目標197.2 t-CO₂に対して、実績173 t-CO₂と目標達成できました。
- 破碎機更新に伴い、廃プラスチックが微細になり投入スクリュで詰まるトラブルが無くなりました。

【今後】

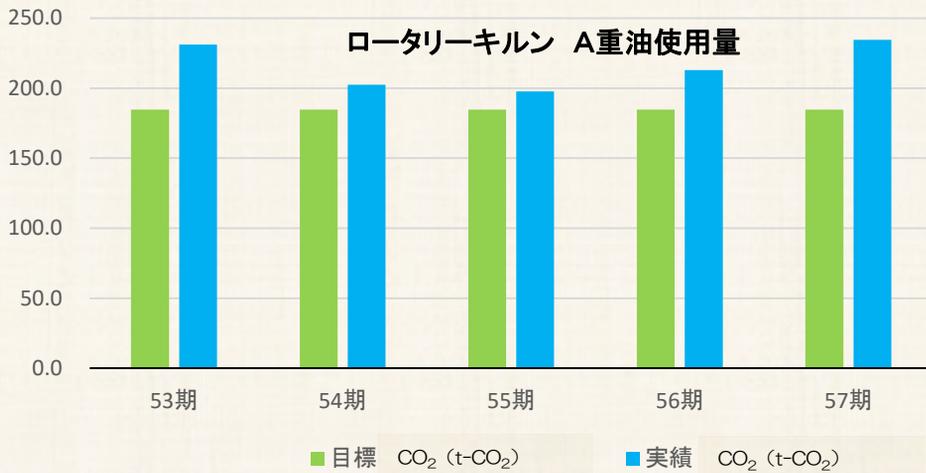
- ベルトコンベアでの廃プラスチックの詰まりが時折ありますので、問題点を洗い出して解決し投入ロスを減らして行きます。
- 当日の廃棄物投入割合を上司と相談し効率のよい運転管理に努めていきます。

【SDGs】

- SDGs 目標13「気候変動に具体的な対策を」に取り組むため、A重油使用量を削減してCO₂排出量の削減に努めました。



本社工場 宮森さん



【取り組み】

- 運転時の使用量を記録して、月末に進捗状況の見直しを行いました。
- 汚泥の在庫量の管理を強化し、効率の良い運転管理に努めました。

【実績・評価】

- 目標184.6 t-CO₂に対して、実績234.5 t-CO₂と目標達成に至りませんでした。
- 受入ホッパーに雨水が浸入し、汚泥の性状が安定せず効率の良い運転ができませんでした。

【今後】

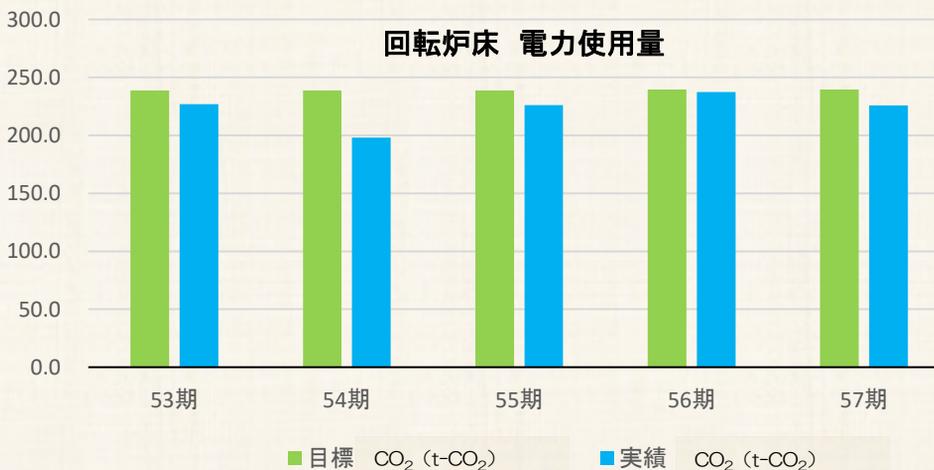
- 搬入量により稼働状況は左右しますが、少しでもA重油使用量の削減に努めます。
- 受入ホッパーを改良し雨水の浸入を防ぎ、汚泥の性状を安定させます。
- 老朽化している設備を改修して、効率の良い運転管理に努めます。

【SDGs】

- SDGs 目標13「気候変動に具体的な対策を」に取り組むため、A重油使用量を削減してCO₂排出量の削減に努めました。



本社工場 森中主任



【取り組み】

- 運転時の使用量を記録して、月末に進捗状況の見直しを行いました。
- 消費電力を抑えるため、機器のオイル交換・グリスアップを適正期間で行いました。

【実績・評価】

- 目標238.7 t-CO₂に対して、実績225.7 t-CO₂と目標達成できました。
- 3基の燃焼ファン運転方法を見直し燃焼効率を高めました。
- 燃焼効率が向上したことで、稼働時間が短縮され電力使用量が削減できました。

【今後】

- 燃焼効率を追求し運転時間短縮による電力使用量を抑えていきます。
- 使用していない機器のブレーカーを落とすことを徹底していきます。
- 感染性保管室照明をLED化にして削減に努めます。

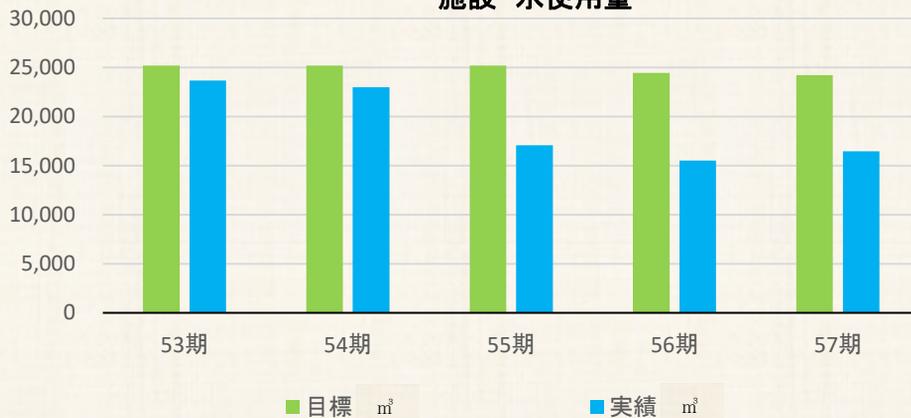
【SDGs】

- SDGs 目標13「気候変動に具体的な対策を」に取り組むため、電力使用量を削減してCO₂排出量削減に努めました。



本社工場 藤井主任

施設 水使用量



【取り組み】

● 毎日の使用量を記録して、月末に進捗状況の見直しを行いました。

【実績・評価】

- 目標24,207m³に対して、実績16,458m³と目標達成できました。
- 夜間は水バルブを全箇所締めることを徹底し漏水リスクを軽減しました。

【今後】

● 老朽化している排水設備を改修して、再利用率向上に努めます。

【SDGs】

● SDGs 目標6「安全な水とトイレを世界中に」に取り組むため、排水を再利用し焼却炉の冷却や車両洗浄に使用しています。



本社工場 森中主任



回転炉床式焼却炉



焼却炉燃焼状況



ロータリーキルン式焼却炉

化学物質使用量

目標	活動内容	実施時期
セメント使用量の削減	セメント固化の効率化	通年
PAC使用量の削減	排水処理施設の維持管理	通年
目標数値	実績	CO ₂ 削減率
セメント使用量 1,824 t	1,208t	34%減
PAC使用量 1,000 ℓ	2,520 ℓ	152%増

※PACとはポリ塩化アルミニウムの略で凝集処理に使われる凝集剤です

【取り組み】

- セメント使用量は、液状汚泥の固化分離時間を見直してセメント使用量を削減しました。
 - 再利用水の水质を安定させるため、PAC使用量を増やしました。
- ※SDSで確認したところ化学物質購入履歴はありませんでした。

(2) 本社工場の取り組み【環境改善】

目標	活動内容	実施時期
ムリ・ムダ・ムラの排除	仕事内容の精査と見直し	通年
場内全域の環境対策	鳥獣被害防止対策・飛散防止対策	通年
施設の改善	設備更新の実施	通年
	作業環境と効率アップの設備配置の検討	通年
在庫管理の強化	搬入物の管理による処理計画と実施	通年
各環境測定の実施	ダイオキシン測定ほか	通年

【取り組み】

- 熱中症対策として、プレス作業場に日除けシートを設置しました。
- 廃プラスチック飛散防止対策をしました。
- 油泥タンク及びステージの更新をしました。
- 57期もダイオキシン測定をはじめ各環境測定を実施しました。
- 一年間無事故無災害として、指差し確認の徹底と熱中症対策をしました。

【実績・評価】

- プレス作業場に日除けシートを設置して、日差しを遮り、直射日光による熱中症リスクを軽減しました。
- 破碎後の廃プラスチック飛散防止対策として、ベルトコンベアに飛散防止カバーを取り付け、周辺をパーテーションで覆うことで、飛散が軽減でき清掃作業も楽になりました。
- 腐食が著しかった油泥タンクと周辺ステージを更新し油の漏洩、ステージからの転落リスクが軽減できました。
- 各環境測定を実施し測定結果は基準値以下でした。詳しいデータは31ページに掲載しています。
- 夏場の熱中症対策として、冷蔵庫にスポーツドリンク等を常備し、こまめに水分補給ができるようにしました。

【今後】

- 施設の改善として、腐食が見受けられる凝集沈殿槽の更新をしていきます。
- 在庫管理として、廃棄物仮置き場を明確にして先入れ先出しが容易にできる環境を整えていきます。
- 一年間無事故無災害として、朝礼時のKYK活動を見直して各々の危機意識を高めて無事故無災害に取り組んでいきます。

【SDGs】

- SDGs 目標8「働きがいも経済成長も」に取り組むため、修繕作業をできるだけ内製化することで各々の技術が身に付き仕事への意欲を高めました。



本社工場 藤井主任



日除けシート



油泥タンク更新作業



(3) 本社工場の取り組み【安全衛生】

目標	活動内容	実施時期
1年間無事故無災害	指差し確認の徹底と啓発	通年
5S活動の推進（整理・整頓・清掃・清潔・躰）	一仕事一片付けの推進	通年

【取り組み】

- 毎日、朝礼時に危険予知活動を行い事故防止に取り組みました。
- 年2回作業環境測定を実施しました。
- 5S活動を推進しました。
- 熱中症対策として、スポーツドリンク等を常備しました。

【実績・評価】

- 作業時の指差し確認を徹底したことで、無事故無災害が、9月30日現在3042日を達成できました。
- 56期末に、破碎機を更新したことで残業が減り労働環境が改善されました。
- 破碎機更新に伴い、消火器設置場所を増設し緊急対応がしやすい環境を整えました。
- 57期も作業環境測定を実施し、第1管理区分に分類されました。
- 場内の、草刈りやゴミ拾いを積極的に行うことで、清掃意識の向上に努めました。
- 休憩所清掃当番であることを、部署内で促して清潔に保てるように啓発と実施を行いました。

【実績・評価】

- 今度も熱中症対策を始め労働災害を起こさないように、他者への声掛けを行い皆で取り組んでいきます。

【SDGs】

- SDGs 目標8「働きがいも経済成長も」に取り組むため、労働災害防止はもちろんのこと、5Sを推進することで仕事への意欲や効率を高めました。



本社工場 矢羽田さん



消火設備



無災害ボード更新の様子



指差し確認の様子

57期、本社工場もさまざまな取り組みを実施しました。環境負荷低減では、A重油使用量や電力使用量など前期より継続している取り組みもあれば、環境改善で油泥タンクの更新や日除けシートなど新たな取り組みも実施しました。安全衛生では、無災害3000日も達成しました。また、今までになかったSDGs 目標に絡めた取り組みも項目ごとに実行しました。

年々、異常気象も激しくなっております。58期もより良い本社工場になるように、環境負荷の低減・作業環境の改善・労働安全衛生の向上の観点から色々な取り組みを精査し、実施したいと思っております。



本社工場 飯田次長

私たち倉橋工場は、下水汚泥の肥料化事業を通して循環型社会および食料安全保障に貢献します。

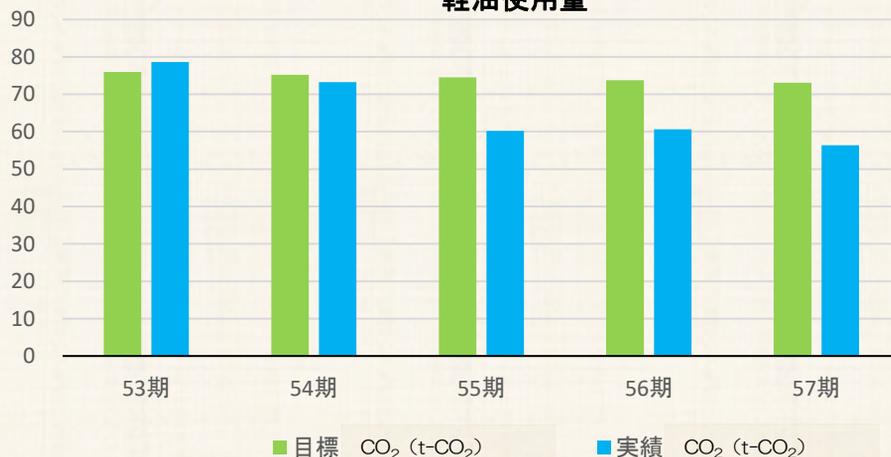


(1) 倉橋工場の取り組み【環境負荷】

目標	活動内容	実施時期
重機の軽油使用量の削減 電力使用量の削減	点検マニュアルの改善 管理体制の強化	通年
目標数値	実績	CO ₂ 削減率
軽油 73.1 t-CO ₂ (27,901 ℓ)	56.4 t-CO ₂ (21,516 ℓ)	23%減
電力 102 t-CO ₂ (174,320 kWh)	74.8 t-CO ₂ (127,879 kWh)	27%減
水 286 m ³	276 m ³	3%減



軽油使用量



【取り組み】

- 在庫管理と発酵処理管理において、過去のデータをもとに中長期計画を立て、状況に応じて適宜作業内容を見直し、重機の稼働時間を抑えました。
- 肥料配達にかかる燃料消費を抑えるためにお客様との調整を工夫しました。
- 車両、重機の運転時のエコ運転を心掛けました。

【実績・評価】

- 目標73.1t-CO₂に対して56.4t-CO₂と目標を達成できました。
- 前期より搬入量が増えたにもかかわらず、年間処理計画を立てたことで重機の稼働時間を減らすことができました。
- 前年度より肥料の搬出量が減ったことで、配達にかかる軽油使用量も減少しました。

【今後】

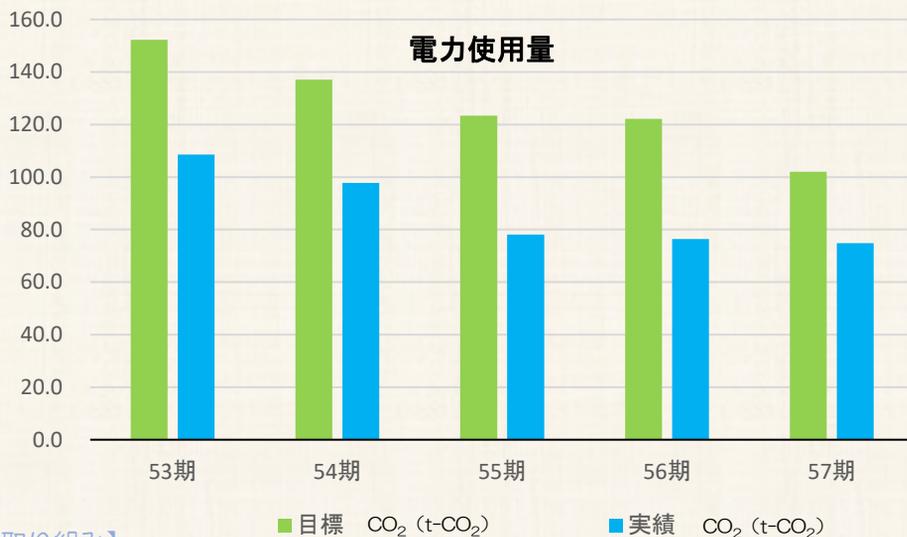
- 引き続き作業工程の改善を追求し、各々が常に向上心を持ち、力を合わせて工場の運営に取り組んでいきます。

【SDGs】

- SDGs 目標13「気候変動に具体的な対策を」に取り組むため、軽油使用量を削減してCO₂排出量の削減に努めました。



倉橋工場 江木さん



【取り組み】

- 外気温の変化に応じて、送風機の風量調整を行いました。
- 作業効率を上げるため、発酵状況や搬入量を見ながら臨機応変に作業工程を見直しました。
- 年間を通して送風機の周波数と発酵状況を記録し、それをもとに作業内容や機器の管理を行いました。

【実績・評価】

- 目標102t-CO₂に対して74.8t-CO₂と目標を達成できました。
- 過去のデータをもとに管理することで発酵状況を悪化させることなく確実に使用量を削減できました。
- 作業効率が上がったことで混合機の稼働時間を削減することができました。

【今後】

- 電力使用量の削減余地がないか引き続き作業内容の見直しを行っていきたいと思います。

【SDGs】

- SDGs 目標13「気候変動に具体的な対策を」に取り組むため、電力油使用量を削減してCO₂排出量の削減に努めました。



倉橋工場 細川主任



【取り組み】

- 洗車をされる搬入業者様へ節水のご協力をお願い掛けました。
- 毎朝水道メーターを確認することで日々の使用量および漏水の有無をチェックしました。
- 重機等の洗車は、水洗浄するのではなく水拭きを基本としました。

【実績・評価】

- 目標286m³に対して、276m³と目標を達成できました。
- 上記の取り組みにより、搬入量が5%近く増えたにもかかわらず使用量をわずかに減らすことができました。

【今後】

- 現在の取り組みを継続し、徹底することで無駄を発生させないように管理していきます。

【SDGs】

- SDGs 目標6「安全な水とトイレを世界中に」に取り組むため、水使用の削減に努めました。



倉橋工場 細馬さん

(2) 倉橋工場の取り組み【環境改善】

目標	活動内容	実施時期
設備の改善	設備更新の実施	通年
	作業環境と効率アップの設備配置の検討	通年
在庫管理の強化	搬入物の管理による処理計画と実施	通年

【取り組み】

- 場内アスファルト舗装路面の補修を実施しました。
- 工場建屋屋根の雨漏り箇所の補修を実施しました。
- 消防設備（消火器、自動火災報知機）の更新を実施しました。
- 過去の実績をもとに中・長期計画を立て、定期的に修正を繰り返しながら処理を進めました。

【実績・評価】

- 路面の凹凸による荷崩れ、荷こぼれを防止することができました。
- 雨漏りによる重機のスリップ、建屋の鉄骨の腐食進行を抑えることができました。
- 消防設備を更新したことで万が一の事故、災害に備えた環境を整えることができました。
- 在庫管理を適正に行うことで場内を整理整頓することができ、安全な作業環境を維持することができました。

【今後】

- 今後も労働環境における安全、作業効率、快適さなどの視点から適宜改善を実施していきたいと思えます。

【SDGs】

- SDGs 目標12「つくる責任つかう責任」に取り組むため、肥料の品質管理を徹底しました。



倉橋工場 石津工場長



補修作業の様子



カンサイの有機肥料



更新した消防設備



(3) 倉橋工場の取り組み【安全衛生】

【取り組み】

- 毎朝朝礼時に危険予知活動を実施しました。
- スポーツドリンクや塩アメを常備し、熱中症対策を実施しました。

【実績・評価】

- 1年間無事故無災害を達成し、継続日数が2065日（9月30日現在）になりました。

【今後】

- 通常業務への慣れからくる気の緩みが事故や災害に繋がることもあるので、今後も日々の危険予知活動、注意喚起を継続していきたいと思います。また、体調や体力の維持も安全に業務を遂行するためには欠かせないので、健康経営の一環で実施している「健康への取り組み」も継続します。

【SDGs】

- SDGs 目標8「働きがいも経済成長も」に取り組むため、労働災害防止はもちろんのこと、作業環境を改善して働きやすい環境を整えました。



倉橋工場 石津工場長



熱中症対策



朝礼の様子

倉橋工場	
無災害 + 記録表	
目標日数	2500 日
連続日数	2065 日
起算日	平成 31 年 2 月 5 日
現在日	令和 6 年 9 月 30 日

無災害ボード

57期は電力、軽油、水全てにおいて目標を達成し、且つ前年度より使用量を削減することができました。これは今までのデータやノウハウの蓄積と部署内で方向性が共有できた成果だと思います。また、工場内の課題だけでなく対外的にもお客様の声を大切にした品質管理やサービスを心掛けてきたことで、緩やかではありますが着実にロコミにより新しいお客様が増えています。

これからも仕事の質を落とすことなく環境負荷低減を追求するとともに、労働環境の改善も進めていきたいと思っています。



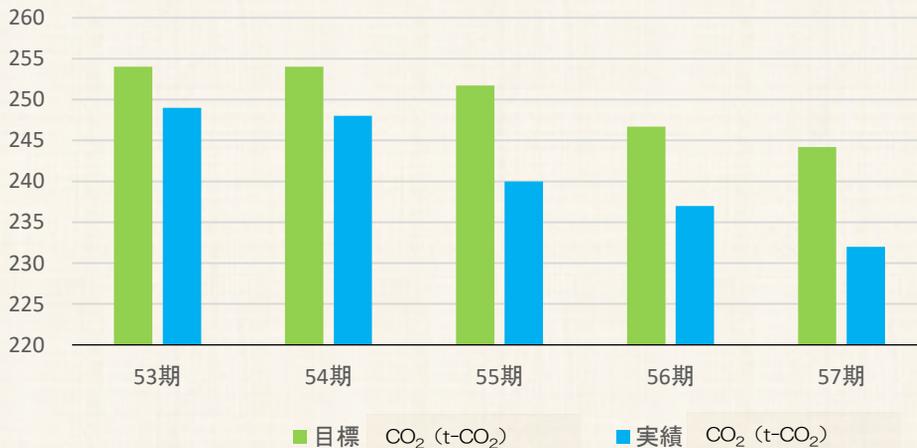
倉橋工場 石津工場長

私たち業務部は、廃棄物を適切に収集運搬、分別し環境美化を目指します。



(1) 業務部の取り組み【環境負荷】

目標	活動内容	実施時期
業務車両軽油使用量の削減	管理体制の強化・ドライブレコーダの運用	通年
建設工事エネルギー使用量の削減	管理体制の強化	
目標数値	実績	CO ₂ 削減率
業務車両燃料使用量 244.2 t-CO ₂	231.6 t-CO ₂ (軽油85,535ℓ ガソリン3,224ℓ)	5%減



【取り組み】

- 毎月業務部の使用車両における燃料（軽油及びガソリン）の使用量を集計しました。毎月業務車両の走行距離、特殊車両については、アワメーターを計測、記録しました。
- 毎月行う業務会議で、燃費や燃料費用等の情報を共有し、今後の改善のために必要なことを話し合いました。
- 毎月1台車両をピックアップし、担当班により車両美化（さび落とし、塗装、シール）を行いました。

【実績・評価】

- 目標244.2t-CO₂に対して、231.6 t-CO₂と目標が達成できました。
- アイドリングストップや収集運搬ルートの見直しを行いました。

【今後】

- 引き続き、燃料使用量の削減のため、アイドリングストップの励行及び走行ルート・作業時間短縮等、燃費の効率化に努めます。
- 修繕費用の削減のため、車両の不具合や異変が起きた場合の担当者へのスムーズな伝達を徹底し、迅速で円滑な対応を目指します。
- 記録した走行距離やアワメーターといったデータを、今後の修繕と予防措置に生かせる仕組みを作りたいと考えます。

【SDGs】

- SDGs 目標13「気候変動に具体的な対策を」に取り組むため、ガソリン・軽油使用量を削減してCO₂排出量の削減に努めました。



業務部 藤元次長

(2) 業務部の取り組み【建設工事・環境負荷】

活動規模	単位	57期
工事の件数	件	8
売上高	千円	76,597

【取り組み】

- 排水処理槽の腐食箇所の防食工事を行いました。
- 浚渫工事・脱臭装置整備工事等を行いました。

【実績・評価】

- 工事件数は8件で、56期より3件減少しました。
- 売上高は76,597千円で、56期より55,320千円増加しました。
- 汚泥他廃棄物38.7tを全量リサイクルしました。
- 現場事務所や工事に使用した軽油等によるCO₂排出量は6.3t-CO₂でした。
- 現場事務所を留守にする際には、必ず電気を消すことを徹底して環境負荷低減に努めました。

【今後】

- エネルギー使用量の把握し、環境負荷の軽減に努めていきます。
- 今後も建設工事で発生する廃棄物をできる限りリサイクルします。

【SDGs】

- SDGs 目標12「つくる責任つかう責任」に取り組むため、余剰材料をリサイクルに努めました。
- SDGs 目標13「気候変動に具体的な対策を」に取り組むため、エネルギー使用量を削減してCO₂排出量の削減に努めました。



業務部 藤元次長

エネルギー使用量	軽油	CO ₂ 排出量
	2,422 ℓ	6.3 t-CO ₂

活動規模	単位	57期	リサイクル量 (t)	廃棄物量 (t)	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)
工事の件数	件	8	38.7	0	6.3
売上高	千円	76,597			
品種	廃プラ	有機汚泥	無機汚泥	紙くず	金属
廃棄物量	-	-	-	-	-
リサイクル量	80kg	35.4 t	2.72t	220kg	280kg



防食工事の様子

(3) 業務部の取り組み【環境改善】

目標	活動内容	実施時期
交通事故防止	事故事例の再検証と啓発活動	通年

【取り組み】

- 毎月1回業務会議を開き、改善点等を議論しました。
- 社内SNSを活用し情報共有に努めました。
- ドライブレコーダーの運用をしました。

【実績・評価】

- 接触事故検証を業務会議で行い、今後の事故防止に努めました。
- 社内SNSの活用により、報連相が格段に向上しました。
- 荷台昇降時の転落災害防止のためステップを取り付けました。
- 乱雑に置かれていた梯子とホースをラックに収納できるようにしました。

【今後】

- 毎月1回の業務会議を継続し情報共有を図ります。



業務部 田中主任



ホースラック

(4) 業務部の取り組み【安全衛生】

目標	活動内容	実施時期
1年間無事故無災害	指差し確認の徹底と啓発	通年
5S活動の推進（整理・整頓・清掃・清潔・躰）	一仕事一片付けの推進	通年
飲酒運転の禁止	アルコールチェッカーの運用	通年

【取り組み】

- 出勤時と退社時にアルコールチェックをしました。
- 危険予知活動を行いました。

【実績・評価】

- 今期も酒気帯び人数は0人でした。
- 無災害日数は1000日を達成しました。
- テールゲートリフター操作業務特別教育を全業務部員が、受講しました。
- 接触事故件数が4件発生しました。

【今後】

- 業務会議や社内SNSで情報共有を図り、接触事故を目指します。

【SDGs】

- SDGs 目標8「働きがいも経済成長も」に取り組みため、社内SNSを活用して働きやすい環境を整えました。



業務部 岡本主任

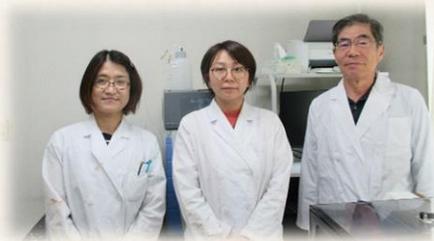
57期は、排水処理槽の防食工事や浚渫工事等、前期より多くの工事件数をこなしました。また、部内SNSの活用と会議等で情報共有に努め、部内のコミュニケーション充実につながるよう取り組みました。

部員が数値目標達成のために取り組んでいる姿は心強く感じ、変化を恐れぬ勇氣をもらえます。また、同じメンバーで仕事をしていることで世界が狭くならないよう、環境負荷の低減・働きやすい環境作り・事故防止等大きな目標のために今後も取り組んでいきたいと思ひます。



業務部 菊池次長

私たち環境計量室は、濃度計量証明の業務を実施すると同時に、カンサイの環境保全に取り組みます。



(1) 環境計量室の取り組み【環境負荷】

目標	活動内容	実施時期
燃えから・汚泥・肥料・排水施設の維持管理	濃度分析及び各部署への伝達	通年



場 所	項目	単位	結果	規制値	測定日
本社工場 (回転炉床式焼却炉)	ばいじん	g/m ³ N	0.058	0.25	2023/12/18
	塩化水素	mg/m ³	9	700	2023/12/18
	硫黄酸化物	m ³ /h	定量下限値未満	5.7	2023/12/18
	窒素酸化物	ppm	67	-	2023/12/18
	全水銀濃度	μg/m ³	0.6	50	2023/12/18
	ダイオキシン	ng-TEQ/m ³	0.25	10	2023/12/18
本社工場 (ロータリーキルン炉)	ばいじん	g/m ³ N	0.021	0.25	2023/12/14
	塩化水素	mg/m ³	定量下限値未満	3	2023/12/14
	硫黄酸化物	m ³ /h	0.47	4.8	2023/12/14
	窒素酸化物	ppm	60	-	2023/12/14
	全水銀濃度	μg/m ³	0.46	50	2023/12/14
	ダイオキシン	ng-TEQ/m ³	0.0015	10	2023/12/14
敷地境界	臭気1	臭気指数	11	-	2024/5/17
	臭気2	臭気指数	10未満	-	2024/5/17
本社工場 (環境放流水)	BOD	mg/ℓ	11		2024/6/12
	COD	mg/ℓ	13		2024/6/12
	SS	mg/ℓ	7		2024/6/12

* 窒素酸化物の規制値は施設が小規模なため規制はかかっておりません。
 * 環境放流水は、外部への放流をしていないため規制はかかっておりません。
 (測定機関)

- 本社工場 (回転炉床式焼却炉) : (株)エヌ・イーサポート
- 本社工場 (ロータリーキルン炉) : (株)エヌ・イーサポート
- 本社工場 (環境放流水) : (株)カンサイ



作業環境測定	
場 所	管理区分
本社工場 (回転炉床式焼却炉)	第1管理区分
本社工場 (ロータリーキルン炉)	第1管理区分

(測定機関)

- MHIソリューションテクノロジーズ

(2) 環境計量室の取り組み【環境改善】

【取り組み】

- 社屋周辺の土壌及び地下水汚染の有無を調査するため、年1回観測井戸調査を実施しました。
- 水質汚濁防止法に基づく水質検査を本社屋合併浄化槽にて年3回実施しました。
- 本社工場の処理水（外部への放流なし）は、自主基準値を設け年2回実施しました。
- 本社工場から最終処分場へ搬出される汚泥や燃え殻を、埋立基準に適合するか否かを判定するために有害物質の分析を実施しました。
- 分析技術向上のため、内部精度管理を実施しました。
- 分析に使用する薬品の管理、特に劇物毒物のチェックを毎月行い、薬品の漏洩等の事故防止に努めました。

【実績・評価】

- 本社屋合併浄化槽の水質検査結果は、排出基準値を下回りました。
- 本社工場の処理水の水質検査結果は、自社基準値を下回りました。
- 劇物毒物の管理チェック表を記録保管しました。

【今後】

- これまで取り組んできた内容を継続するとともに、新たな課題等を見出し解決に努めます。

【SDGs】

- SDGs 11「住み続けられるまちづくりを」に取り組むため、本社工場焼却炉からの排ガスと燃えがらを分析しました。



環境計量室 道方室長



サンプリング作業の様子

環境分析作業の様子



57期は、環境保全上の問題は見受けられませんでした。大気汚染防止法に基づく特定施設の排ガス測定結果は、規制基準値を下回り、また、水質汚濁防止法に基づく特定施設の水質分析結果も規制基準値を下回りました。今後も同様に測定・分析を実施し、環境保全に努めてまいります。



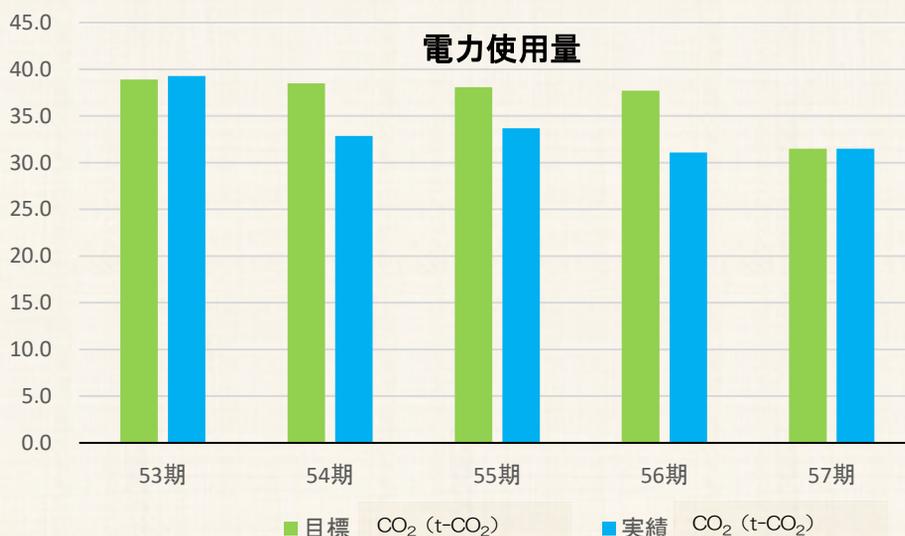
環境計量室 道方室長

私たち総務部は、組織の運営において従業員を下支えする重要な役割を果たすことを目指します。



(1) 総務部の取り組み【環境負荷】

目標	活動内容	実施時期
事務所電力使用量の削減	こまめな節電	通年
目標数値	実績	CO ₂ 削減率
電力使用量 31.5 t-CO ₂ (53,779kWh)	31.5 t-CO ₂ (53,842kWh)	0%



【取り組み】

- 事務所内照明の適切な消灯やパソコン不使用時の電源OFFなどの省エネ活動に努めました。
- 事務所2階の照明をLEDにしました。

【実績・評価】

- 電力使用量は63kWh微増しましたが、目標31.5t-CO₂に対して31.5t-CO₂と達成しました。
- パソコン不使用時の電源OFF、エアコン設定温度の確認などの取り組みました。
- 事務所2階のLED照明に更新したのが期末だったため、電力削減の効果は表れませんでした。

【今後】

- 適切な節電とエアコンの定期的なフィルター掃除を引き続き継続して行います。

【SDGs】

- SDGs 目標13「気候変動に具体的な対策を」に取り組むため、電力使用量を削減してCO₂排出量に削減に努めました。



総務部 山田主任

(2) 総務部の取り組み【グリーン購入】

【取り組み】

- 環境配慮型商品を優先して購入してもらうために、啓発活動を行い、社員への意識付けを行いました。
- 定期的に購入している物も更に環境に配慮した物へ変えることができないか検討を行いました。

【実績・評価】

- 56期の78.3%に対して、57期は63.1%と購入率は減少しました。
- コピー用紙等は100%再生紙を購入しています。
- 環境配慮型商品が無い物以外はほぼ100%グリーン購入を継続しています。
- 熱中症対策などで社員に配る飲み物もうベルレスボトルを購入しました。
- 使用済クリアホルダーの回収再資源化事業に参加し、その収益を環境NGOに寄付しました。

【今後】

- 環境配慮型商品を購入しているかチェックする取り組みを継続し、環境認証マーク製品を意識して購入するようにします。

【SDGs】

- SDGs目標12「つくる責任つかう責任」に取り組むため、グリーン購入を推進しました。



総務部 上田さん

(3) 総務部の取り組み【コミュニケーション】

目標	活動内容	実施時期
家族とのつながり	家族見学会の企画・実施	6月
社員とのつながり	毎月誕生月の人をお祝いする	通年
	永年勤続者の表彰	通年
ステークホルダーからの要望への対応	お客様の要望・意見・提案を閲覧と共有	通年

【取り組み】

- 社員とのつながりとして、「永年勤続表彰」と「誕生月にあたる社員及び社員の中学生以下の家族のお祝い」を継続して行いました。
- 社員間の情報共有として、社内掲示と社内事項の一斉メール配信を継続して行い、情報の共有化を図りました。
- 家族を含めたコミュニケーションの場である「家族会」を企画しました。
- 積極的な情報公開として、ホームページ上に環境経営レポートを掲載し、ホームページのお知らせを定期的に更新しました。

【実績・評価】

- 57期の「永年勤続表彰」は10名の社員が該当し、お祝いをしました。10名の内、最長者は25年勤続でした。
- 「誕生月にあたる社員及び社員の中学生以下の家族のお祝い」では、誕生日当日に全社員へ一斉メールを配信し、社員本人からのコメントを掲示しました。
- 「家族会」はボウリングを企画していましたが、感染症による社会情勢を踏まえ中止としました。
- 57期も引き続き、ホームページのお知らせを定期的に更新し、積極的な情報公開に努めました。

【今後】

- 社員からも好評の「永年勤続表彰」と「誕生月にあたる社員及び社員の中学生以下の家族のお祝い」は58期も継続して行います。
- 「家族会」に関しては、社会情勢を見ながら、開催するか否かを判断していきます。



総務部 金子主任

57期は長年の目標である社屋のLED化が完了し、今後の電力削減に期待できると思います。

「永年勤続表彰」・「誕生月にあたる社員のお祝い」「資格取得者の表彰」を通して働く意欲の向上につながる取り組みができました。

今後もコロナウィルス等の感染予防対策を引き続き実施しながら、社員の健康と社内のコミュニケーション充実に寄与していきたいと思ひます。



総務部 藤岡課長

(1) 環境力道場

目標	活動内容	実施時期
知識の向上	環境力道場の開催、随時各講習会への参加	通年
資格取得へのチャレンジ	リストアップと計画取得	通年



【環境力道場とは?】

●環境力道場はその名の通り、環境力を身につけることによりカンサイ独自のビジネス展開と持続可能な社会づくりへの貢献を目指し、皆で道場のごとく意見をぶつけ合い、互いの理解を深め各自の能力向上を図る社員研修です。外部講師（環境文明研究所、加藤三郎先生、藤村コノ卫先生）を招いて実施しています。

【研修内容】

- 46期（2013年度）から始まった環境力道場を継続して取り組むことで、知識を知恵に変え、自ら考え行動できる社員を育てています。
- 57期は、経営層以下の人材育成に焦点をあてて取り組みを行いました。
- カンサイ理念手帳の項目に対して各部署の具体的な取り組みについて議論しました。
- 会社をよりよい方向に持っていくために、それぞれの部署が具体的にどのようなことをしているのかを明確にして、会社の発展を全員が考えるようになることを目指し、議論しました。
- 環境力道場に参加していない社員に向けて、議事録と会話記録をメールで発信し情報共有を図りました。

【今後】

- 日本の削減目標2050年ゼロエミッションに向けての規制強化の情報を注視して今後の事業展開をしていきます。
- 全社員の知恵を結集させて、日々起こる問題やこれまで解決できていない課題の解決策を導きだし、実行していきます。
- 各部署入社5年未満を対象にし、次世代への継承を視野にいれた取り組みを継続していきます。
- カンサイ理念が、現状にそぐわない項目が無いか、追加すべき項目は無いかが、検証と深掘りをしていきます。

【SDGs】

- SDGs4「質の高い教育をみんなに」に取り組むために、定期的に環境力道場を開催しました。



研修の様子

【参加者の感想】

入社半年後から約1年間環境力道場へ参加させて頂きました。先生方の講義は環境問題の知識がなかった私にも分かりやすく、とても勉強になりました。環境問題の現状や国際的動向を教えて頂き、「地球沸騰時代の到来」や「人類は地獄の門を開けてしまった」などの言葉から現在の逼迫した環境問題の状況を強く感じ、節電・ゴミの分別・プラスチックのリサイクルなど私に出来る事を考えて実践していこうと思いました。

また、入社したばかりだった私は環境力道場で他部署の方と話す機会を多く頂きました。その中で他部署の業務内容や雰囲気を知ることができ、皆さんとコミュニケーションをとりやすい環境を作って頂いた事がとてもありがたかったです。

今後も他部署とのコミュニケーションも大切につつ、先生方に教えて頂いた事をしっかり見直し、新しい情報にもアンテナをはるようになっていきたいと思っています。



環境計量室 山崎さん

(2) 資格取得



【取り組み】

- 業務上必要資格と自己研鑽のための資格取得に取り組みました。
- 1級土木・浄化槽管理士・ボイラー1級・ボイラー2級・安全衛生管理者など多くの社員が資格を取得しました。
- 資格取得の際には、会社が費用の全額負担しています。また、自己研鑽で資格取得した社員には表彰制度を設けています。

資格名	取得者数	資格名	取得者数
環境計量士	2	フルハーネス	10
特別管理廃棄物処理業（処分過程）	1	アーク溶接	7
特別管理廃棄物処理業（収集運搬）	1	高所作業車	5
産業廃棄物処理業（処分過程）	1	特定化学物質等作業主任者	7
産業廃棄物処理業（収集運搬）	1	有機溶剤作業主任者	4
産業廃棄物焼却施設技術管理者	2	玉掛	15
産業廃棄物中間処理施設技術管理者	2	足場	4
作業環境測定士	1	車両系建設機械（整地等）	10
臭気判定士	1	小型移動式クレーン	9
1級土木施工管理技士	2	車両系建設機械（解体）	5
2級土木施工管理技士	3	フォークリフト	13
計量証明事業主任計量者	2	高圧洗浄作業	3
一般毒物劇物取扱者	2	職長教育	2
危険物取扱者（乙種第4類）	4	下水道管路管理技士	1
危険物取扱者（丙種）	1	小型ボイラー取扱業務	1
第一種安全衛生管理者	5	廃棄物の焼却施設に関する業務	4
運行管理者	2	廃棄物焼却施設（ダイオキシン類）作業指揮者	2
安全運転管理者	2	第二種電気工事士	3
一級ボイラー技士	1	ガス溶接	8
二級ボイラー技士	3	第二種酸素欠乏危険作業主任者	15
浄化槽管理士	1	テールゲートリフター操作業務	11

【資格取得者の感想】

50歳を過ぎた自分の可能性が知りたくて資格取得に挑戦しました。1ヶ月半時間を見つけては勉強し、新たな知識が身についているなと実感でき充実した日々が過ごせました。

数十年ぶりに合格発表の緊張感を味わえて、何歳になってもやる気があればできるものだと思います。



本社工場 藤井主任

第一種衛生管理士は職場の快適で衛生的な環境づくりを行う資格なので、自社の事業内容を鑑みて、何かしらお役にたてるのではないかとはい勉強を始めて取得しました。

久しぶりに本気で問題集に取り組み、学ぶ楽しさも感じる事ができました。総務部として各部署間の橋渡しとなれるよう、活かしていきたいと思います。



総務部 金子主任

(3) 救助訓練

【活動内容】

- 作業中に、酸欠事故が発生したことを想定し、救助手順の確認と酸素吸入器の装着を実施しました。
- 本社工場の消火栓の動作確認と消火器の点検を行いました。

【今後】

- 迅速に初期対応ができる体制づくりのため、定期的に訓練を実施していきます。

【感想】

- 酸素・硫化水素濃度の基準値を改めて確認出来てよかった。
- 換気の大切さを先輩の経験を元に話を聞いてよかった。
- 事故が発生した時には、慌てず救助に向かうのではなく、換気・応援要請・濃度測定・救助の順で対応することが確認できた。



救助訓練の様子

(4) カンサイ理念手帳

【カンサイ理念手帳（フィロソフィー）とは】

- フィロソフィーとは、日本語で『哲学』のことです。
- 私たちカンサイは、人と人との調和・人と自然との調和を大切に、全従業員の物心両面の幸せを追求する企業です。

【取り組み】

- 手帳の内容をより浸透させるために、ソフト面的な項目について、各部署でミーティング等により共有を図りました。
- 環境力道場でも各項目の深堀をしました。

【今後】

- 50期に完成した理念手帳の内容を一人ひとりがより深化させて、良いことがあっても悪いことがあっても、カンサイ社員としての判断基準にしていきます。
- この理念手帳はこれで完成ではなく、日々の仕事を通じて得た新しい気付きとともに、今後の目標に向かって社員自らが修正・追加を重ね進化させていきます。



カンサイ理念手帳

(5) 文書管理

【取り組み】

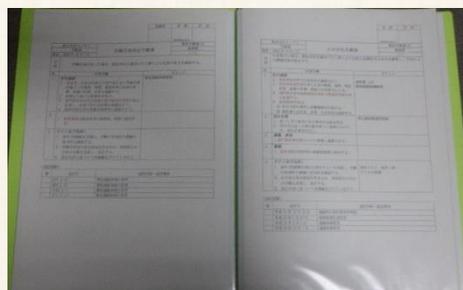
- エコアクション文書管理内容の雛形の点検を行いました。

【実績・評価】

- 手順書等が現状の取り組みに相違がないか確認を行いました。

【今後】

- 今後も文書管理を定期的に確認していきます。



緊急事態対応手順書

毎年の環境力道場は、環境関連企業で働く社員にとって必要な知識や意識の向上、参加している社員同士のコミュニケーションに役立っている取り組みとなっています。この研修を始めて10年余りが経過しましたが、他部署の理解向上や各部署の問題点の解決に大きく役立っています。

業務を履行するのに必要な免許や資格の取得、講習の受講についても近年力を入れていきます。資格取得の種類や人数も毎年増えており、労災事故防止の観点で安全への配慮や新たな分野の契約獲得に期待します。自己研鑽を目的とした資格取得を表彰することにより、仕事に取り組む姿勢が前向きになり、知識を深めてくれると会社全体のレベルアップにも繋がっていくと思います。



田原取締役

産業廃棄物収集運搬業許可一覽

許可行政	許可番号	許可期限年月日	優良認定	許可年月日
広島県	第03409004558号	令和10年09月01日	優	令和3年09月02日
岡山県	第03307004558号	令和12年06月18日	優	令和5年06月19日
島根県	第03200004558号	令和7年11月07日	優	平成30年11月08日
山口県	第03500004558号	令和7年11月24日	優	平成30年11月25日
鳥取県	第03104004558号	令和10年07月05日	優	令和3年07月06日
愛媛県	第03805004558号	令和7年08月28日	優	平成30年08月29日
高知県	第03900004558号	令和11年09月04日	優	令和4年09月05日
徳島県	第03600004558号	令和12年10月23日	優	令和5年11月21日
香川県	第03709004558号	令和12年05月26日	優	令和5年05月27日
兵庫県	第02803004558号	令和11年08月30日	優	令和4年08月31日
大阪府	第02700004558号	令和13年04月10日	優	令和6年04月11日

特別管理産業廃棄物収集運搬業許可一覽

許可行政	許可番号	許可期限年月日	優良認定	許可年月日
広島県	第03459004558号	令和12年11月28日	優	令和5年11月29日
岡山県	第03357004558号	令和12年06月18日	優	令和5年06月19日
島根県	第03250004558号	令和12年09月02日	優	令和5年09月03日
山口県	第03550004558号	令和7年11月24日	優	平成30年11月25日
鳥取県	第03154004558号	令和8年02月01日	優	平成31年02月02日
愛媛県	第03855004558号	令和7年08月28日	優	平成30年08月29日
高知県	第03950004558号	令和11年09月04日	優	令和4年09月05日
徳島県	第03650004558号	令和12年10月23日	優	令和5年11月21日
香川県	第03759004558号	令和12年05月26日	優	令和5年05月27日
兵庫県	第02853004558号	令和11年08月30日	優	令和4年08月31日
大阪府	第02750004558号	令和13年04月10日	優	令和6年04月11日

産業廃棄物処分業許可一覽

許可行政	許可番号	許可期限年月日	優良認定	許可年月日
広島市	第07320004558号	令和11年03月21日	優	令和4年03月22日
呉市	第07422004558号	令和10年07月28日		令和5年07月29日

特別管理産業廃棄物処分業許可一覽

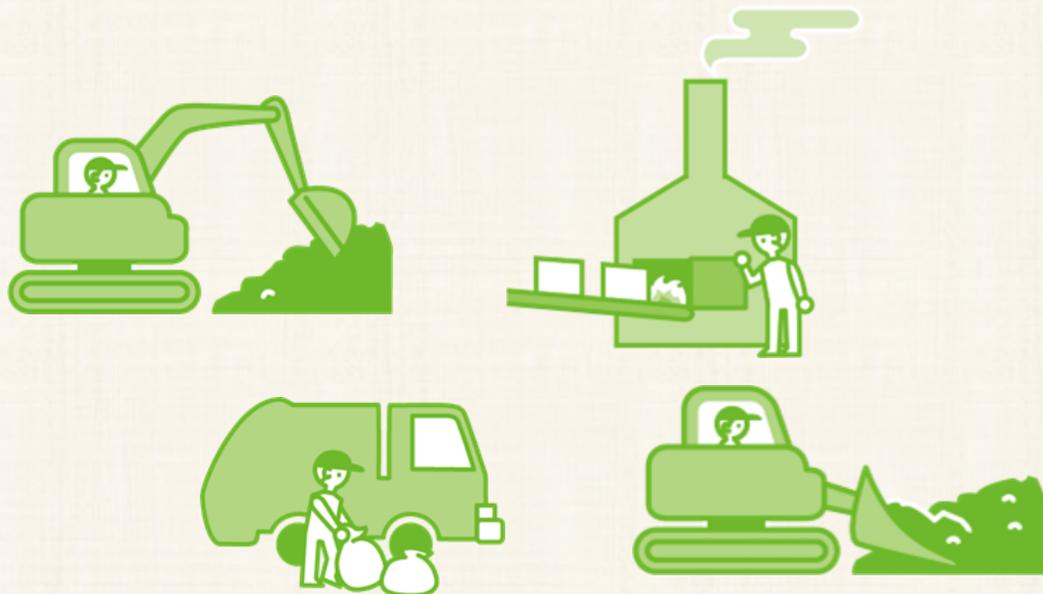
許可行政	許可番号	許可期限年月日	優良認定	許可年月日
広島市	第07370004558号	令和11年09月27日	優	令和4年09月28日

施設	処理方法	処理能力	事業所
回転炉床式焼却炉	焼却	6.6t/日	本社工場
ロータリーキルン式 焼却炉	焼却	4.8t/日	本社工場
一軸破碎機	破碎	廃プラ4.4t/日・・・他	本社工場
縦型圧縮梱包器	圧縮	繊維くず4.49t/日・・・他	本社工場
移動式脱水車	移動脱水	50m ³ /日	本社工場
固化施設	固化	50m ³ /日	本社工場
天日乾燥施設	天日乾燥	50m ³ /日	本社工場
連続中和装置	中和	48m ³ /日	本社工場
安定化处理施設	安定化	4t/日	本社工場
発酵施設	発酵	15m ³ /日	本社工場
発酵施設	発酵	70t/日	倉橋工場

区分	産業廃棄物収集運搬業	産業廃棄物処分量
燃え殻	○	
汚泥	○	○
廃油	○	○
廃酸	○	○
廃アルカリ	○	○
廃プラスチック類	○	○
紙くず	○	○
木くず	○	○
繊維くず	○	○
動植物性残渣	○	○
動物系固形不要物	○	○
ゴムくず	○	○
金属くず	○	○
ガラス・陶磁器くず	○	○
鋳さい	○	
がれき類	○	
動物のふん尿	○	
動物の死体	○	
ばいじん	○	
産廃処理物	○	
水銀使用製品産業廃棄物	○	

区分	特別管理産業廃棄物収集運搬業	特別管理産業廃棄物処分量
廃油	○	○
廃酸	○	○
廃アルカリ	○	○
感染性産業廃棄物	○	○

特定有害産業廃棄物	特別管理産業廃棄物収集運搬業	特別管理産業廃棄物処分量
燃え殻	○	○
汚泥	○	○
廃油	○	○
廃酸	○	○
廃アルカリ	○	○
鋳さい	○	○
ばいじん	○	○



収集運搬車両数量等

吸引車 (10t/4t) : 4台



吸引車は、大風量のブローでタンク内を負圧にし、ホースの先から吸引します。液体物だけでなく、泥状物や粒子状の固形物の吸引が可能です。

ダンプ車 (10t/3t/2t) : 6台



スタンダードなダンプ仕様に加え、水密性箱型ダンプ仕様も用意して、あらゆる廃棄物に対応できるようにしています。

ウイング車 (8t/4t/2t) : 3台



主にドラム缶やフレコンバッグ等、容器に入れられた廃棄物を運搬する車両です。8t車では一度に34本のドラム缶を運搬することができます。

コンテナ車 (10t/4t) : 7台



お客様のところに専用コンテナを設置し、廃プラスチック類や脱水汚泥等の廃棄物を収集運搬する車両です。有機汚泥には密閉式コンテナも用意しています。

ユニック車 (4t) : 2台



トラックに取付けられたクレーンを使って、重量物を吊上げて積載する車両です。

パッカー車 (2t) : 4台

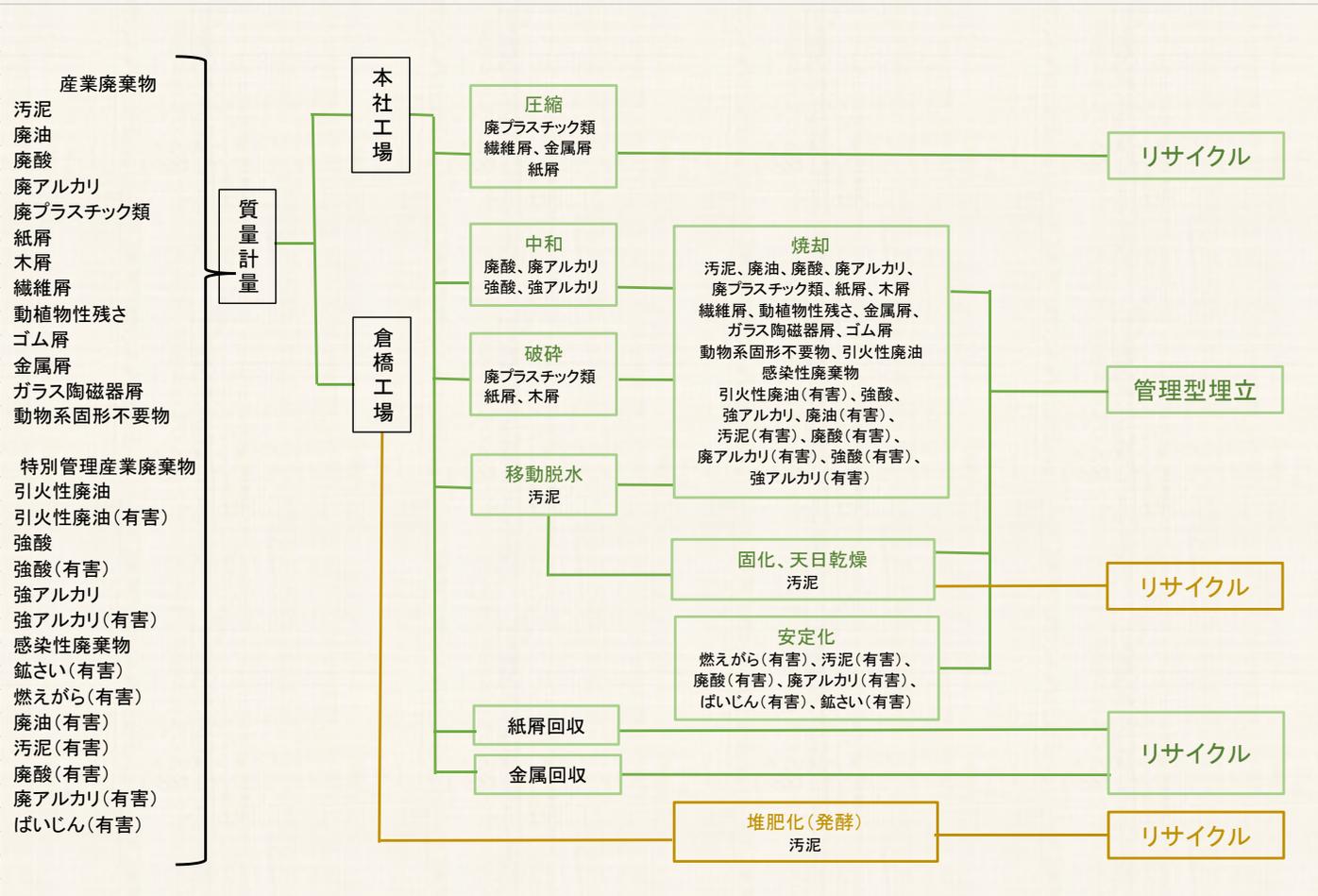
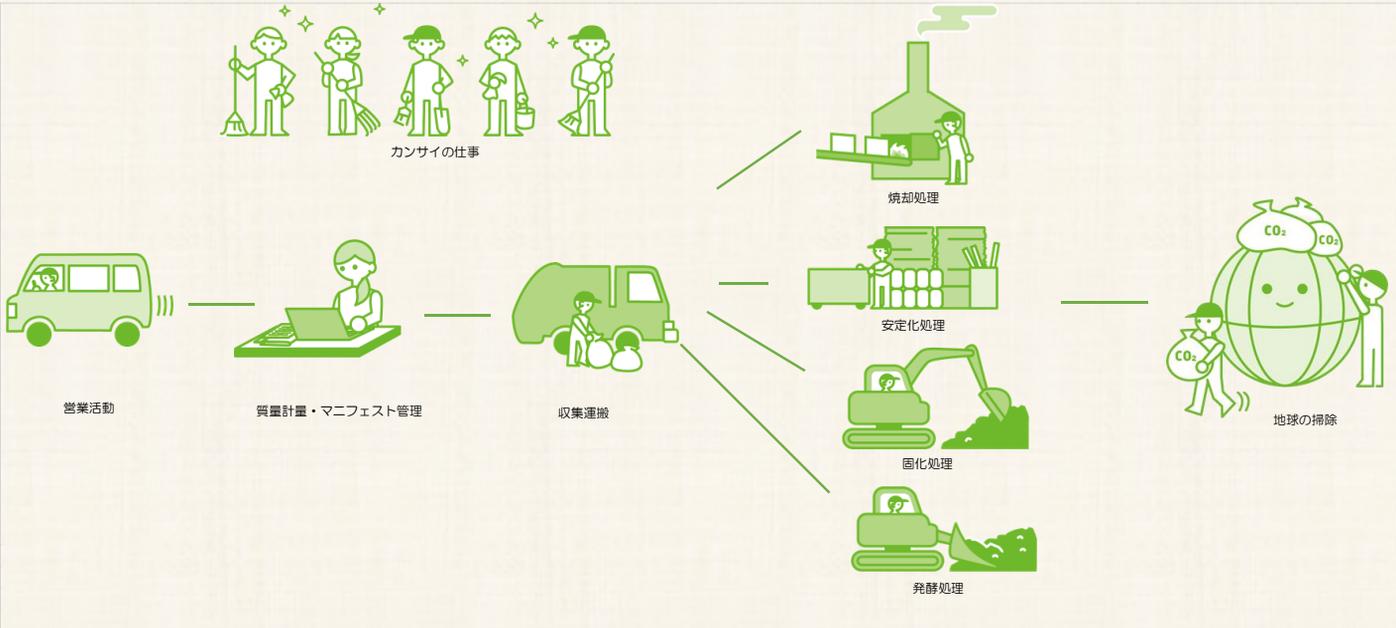


街中でよく見かけるゴミ収集車です。小さな車両ですが、多くの廃棄物を積載できる車両です。

軽バンなどを合わせると全38台あり、あらゆる廃棄物に対応できるようにラインナップしています。

車種	車番	積載量 (kg)	車種	車番	積載量 (kg)
大型吸引車	1540	8850	4t水密ダンプ	9796	3650
大型吸引車	1785	7370	3tダンプ	8895	3000
大型吸引車	40	8960	3tダンプ	4801	3000
4t吸引車	4707	2900	2tダンプ	3425	2000
4t吸引車	8126	2470	2tパッカー	8625	2000
8tウイング	2838	6800	2tパッカー	4637	2000
4tウイング	3086	2250	2tパッカー	4528	2000
2tパワーゲート	8653	2000	2tパッカー	8342	2000
大型ダンプ	3762	9800	4tユニック	3284	2550
大型アームロール	2710	10900	4tユニック	7919	3450
4tアームロール	9554	3700	軽ダンプ	8840	350
4tアームロール	8156	4000	軽ダンプ	4412	350
4tアームロール	1851	4050	軽バン	1169	350
3tアームロール	1581	3000	軽バン	3465	350
3tアームロール	8859	3000	軽バン	621	350
3tアームロール	9432	3000	小型バン	24	400
洗浄車	7428	-	小型バン	1968	750
洗浄車	3570	-	ハイエース	264	1150
給水車	5019	-	TV車	6528	-

処理工程図



(1) 当社に適用となる主な環境関連法規制等

法律・条例等	要項	主な内容	評価
環境基本法	第8条	・事業活動に伴い生じる公害を防止する	○
		・事業活動に係る製品が廃棄物となった場合の適正処理の措置	○
		・事業活動に係る製品が使用、廃棄されることによる環境負荷の低減と再生資源の利用	○
		・国または地方公共団体の環境保全に関する施策への協力	○
廃棄物の処理及び清掃に 関する法律	第12条	・廃棄物の排出を抑制し、適正な分別、保管、収集、運搬、再生、処分等の処理を行う	○
		・生活環境を清潔にすることにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る	○
		・マニフェストの交付、管理の遵守	○
水質汚濁防止法及び広島 県公害防止条例	第5条	・工場及び事業場から排出される水の排出及び浸透を規制し、生活排水対策を実施する	○
		・水質の汚濁の防止を図り、国民の健康を保護するとともに生活環境を保全する	○
		・健康被害が生じた場合の責任を明確にし、被害者の保護を図る	○
騒音規制法	第5条	・騒音についての必要な規制を行なうとともに、許容限度を定めることにより、生活環境を保全し、国民の健康の保護に資する	○
振動規制法	第5条	・振動について必要な規制を行うとともに、道路交通振動に係る要請の措置を定めること等により、生活環境を保全し、国民の健康の保護に資する	○
悪臭防止法	第4条	・悪臭について必要な規制を行い、その他悪臭防止対策を推進することにより、生活環境を保全し、国民の健康の保護に資する	○
大気汚染防止法	第2条	・ばい煙、揮発性有機化合物及び粉じんの排出等を規制し、有害大気汚染物質対策の実施を推進する	○
		・自動車排出ガスに係る許容限度を定めること等により国民の健康を保護するとともに生活環境を保全する	○
		・健康被害が生じた場合の損害賠償の責任について定めることにより、被害者の保護を図る	○
ダイオキシン類対策特別措置法	第2条	ダイオキシン類による環境の汚染防止及びその除去等をするため基準を定め、必要な規制、汚染土壌に係る措置等を定め、国民の健康の保護を図る	○ ○
特定化学物質の環境への排出量の把握等 及び管理の改善の促進に関する法律	第2条	・事業者による化学物質の自主的な管理の改善を促進し、環境の保全上の支障を未然に防止する	○
消防法	第17・21条	・国民の生命、身体及び財産を火災から保護するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行うことで秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する	○ ○
肥料取締法	第4条	・肥料の品質を保全し、その公正な取引と安全な施用を確保するため、規格及び施用基準の公定、登録、検査等を行う。農業生産力の維持増進に寄与する	○
建設業法	第3条	・建設業を営む者の資質の向上、建設工事の請負契約の適正化等を図ることによって、建設工事の適正な施工を確保し、発注者を保護するとともに、建設業の健全な発達を促進する	○
建設リサイクル法		・特定の建設資材について、その分別解体等及び再資源化等を促進する	○
		・登録制度を実施し再生資源の十分な利用及び廃棄物の減量等を図る	○
道路運送車両法		・所有権についての公証等を行い、並びに安全性の確保及び公害の防止その他の環境の保全並びに整備についての技術の向上を図る	○
毒物及び劇物取締法	第4条	・毒物及び劇物について、保健衛生上の見地から必要な取締を行う	○
計量法	第10条	・計量の基準を定め、適正な計量の実施を確保	○
高圧ガス保安法	第9条	・高圧ガスの製造、貯蔵、販売、移動その他の取扱い及び消費並びに容器の製造及び取扱いを規制する	○
放射線障害防止法		・放射性同位元素の使用、販売、貸貸、廃棄その他の取扱い、発生装置の使用及び放射性汚染物の廃棄その他の取扱いを規制し、これらによる放射線障害を防止する	○
労働安全衛生法		・労働災害の防止のための危害防止基準の確立	○
		・責任体制の明確化及び自主的活動の促進	○
		・職場における労働者の安全と健康を確保し、快適な職場環境の形成を促進する	○
古物営業法		・盗品の売買の防止、速やかな発見等を図るため、必要な規制を行い、犯罪の防止を図り、その被害の迅速な回復をはかる	○
フロン排出抑制法	第16条	・機器使用環境の維持保全、簡易点検	○

遵守日 2024年10月2日

(2) 違反、訴訟等

当社における環境関連法規への違反は過去三年間ありません。また、関係当局からの指摘は無く、訴訟もありませんでした。

(1) 施設見学

【施設見学】

●排出事業者と地域住民施設見学を積極的に行っています。57期は32社の施設見学をうけいれました。

【見学者の声】

- より良い環境対策充実に努めてください
- 現状の取り組みを継続してください
- 御社の発展が地域の環境保全になると思いますので頑張ってください



住民見学の様子



排出事業者見学の様子

(2) 焼却炉行政測定

【行政測定】

- 今期はロータリーキルン式焼却炉ダイオキシン類の広島市行政測定を実施しました。
 - 測定結果は、規制基準値を下回りました。
- ※測定結果は以下の通り

場 所	項目	単位	結果
本社工場 (ロータリーキルン式焼却炉)	ばいじん	g/m ³ N	0.014
	塩化水素	mg/m ³	3未満
	硫黄酸化物	m ³ /h	0.39
	窒素酸化物	ppm	71
	一酸化炭素	volppm	24
	ダイオキシン	ng-TEQ/m ³	0.0000033



行政測定の様子

(3) 環境経営レポート

【環境経営レポート】

- エコアクション21の要求事項の一つでもある、環境経営レポートを発行し、ステークホルダーの方々に配布し、読んで頂きました。
- 56期は、ホームページ掲載と437部配布し、お客さまとのコミュニケーションツールになりました。



(4) 健康経営

【健康チャレンジ目的】

- 企業の持続的な成長を図るためには、従業員のメンタルヘルス等の健康づくりは不可欠です。会社として助成金を出して取り組みを後押ししました。
- 新年に各々に見合った健康目標と数値目標を掲げて取り組みました。

エコアクション57期 個人目標

部署名	個人名	目標	取り組み
営業部	田原	ゴルフラウンド100切	ショット練習(月1000球 年12000球) バット練習(月1000球 年12000球)
	橋本	体脂肪率-10%(18→16.2%)	月間獲得標高2000m
	福原	目をつむって片足立左右30秒キープ	体幹トレーニング(プランク等月160分以上 一回5~10分)
	中尾	増量して理想体型にする(68→75kg)	筋トレ(大胸筋月80回 背筋左右80回)
	沖	胸囲-4cm(現89cm)	30分以上のウォーキング(月25日 年300日)・休日1時間のランニング(月10時間 年120時間)
本社工場	丸山	基礎代謝を上げる	月6時間のウォーキングをする
	北川	年内にハーフマラソンを2時間以内で完走する	月平均100kmのジョギング(年間1200km)
	飯田	5kgのダイエット(63kg→58kg)	一月50kmのウォーキング(年間600km)
	森中	2kgのダイエット(54kg→52kg)	一週間10万歩以上歩く(月40万歩)
	藤井	健康とスリムな体形維持(体脂肪率13%)	腕立て、腹筋、背筋を月1500回以上する(日平均50回以上)
	宮森	懸垂を10回以上出来るようにする	縄跳び(1分間100回を3分×5セット)週4回(月16回)
	矢羽田	3kgのダイエット	2種目のプランクを週5日(月20日)する

【ひろしま企業健康宣言】

- 全国健康保険協会広島支部から、健康づくり優良事業所の認定基準最高位5つ星に認定されました。
- 今後も社員が健康で末永く仕事に従事できるように、会社としてサポートしていきます。



ひろしま企業健康宣言
健康づくり優良事業所



全体朝礼ラジオ体操風景

【登山同好会】

- 社員のコミュニケーションと健康を目的に、一年に一回日帰りできる山に登山をしています。

【感想】

- 今年で2回目となる登山同好会メンバーで吉和冠山に行ってきました。当日は晴天に恵まれ、5時間をかけ新緑の中を歩きました。途中の絶景スポットで写真を撮り自然の美しさと、仲間の大切さに触れ合うことができました。下山後には、潮原温泉で登山の疲れを癒した後、懇親会で美味しい料理とお酒を味わい充実した一日でした。



登山の様子

スーパーカイド

【肥料について】

- 倉橋工場では、下水処理場やし尿処理場において生活排水を浄化する際に発生する廃棄物である汚泥を受け入れ、好氣的に発酵処理し、肥料「スーパーカイド」へとリサイクルしています。
- スーパーカイドの特徴としては、葉や茎の生長に欠かせない窒素と、開花・結実、根の伸長に役立つリン酸を豊富に含んでおり、野菜、果樹、稲作、花卉、芝生、植木などに幅広くご使用いただけます。十分に発酵処理していますので、未熟堆肥のような生育障害の心配がなく、元肥にも追肥にも利用できます。農産物だけでなく肥料も地産地消していただけるように、地元の方々へアピールしていきたいと思っております。
- 下の写真は、リサイクル肥料カイドを使用して家庭菜園やガーデニングを楽しんでいる社員たちの花壇や畑の様子です。

【SDGs】

- SDGs 目標12「つくる責任つかう責任」に取り組むため、肥料の品質管理を徹底しました。

肥料お求めはこちらまで・・・
 TEL：(082) 941-1641
 TEL：(0823) 53-1823

カンサイ総務部
 カンサイ倉橋工場



下水汚泥の混合



発酵状態



製品



23 58期の環境活動計画

※分別作業場の改修工事計画と実施、運用に取り組みます。

※58期も引き続き、環境力道場を開催して、カンサイ理念手帳の浸透と見直しに重点を置いた社員教育に取り組みます。

※セクハラ・パワハラの撲滅に取り組みます。

重点取り組み	目標	活動内容	実施時期	該当部門
	分別作業場の整備	改修工事計画と実施、運用	通年	本社工場
	社員の知識と技術の向上	カンサイ理念手帳を浸透させる	通年	全社員
	ハラスメントの撲滅	相談窓口の運用	通年	全社員

環境	(1) 回転炉床・ロータリーキルンの重油使用量の削減 回転炉床電力使用量の削減	管理体制の強化、随時改善する	通年	本社工場
		プラント運転管理者の技術の向上		
	(2) 業務車両・建設工事のガソリン・軽油使用量の削減	ドライブレコーダーの運用	通年	業務部
		管理体制の強化		
	(3) 営業車両のガソリン使用量の削減	エコ運転の教育・徹底	通年	営業部
	(4) 重機の軽油使用量の削減 電力使用量の削減	点検マニュアルの改善	通年	倉橋工場
		管理体制の強化		
(5) 事務所電力使用量の削減	こまめな節電	通年	総務部	
(6) 燃え殻・汚泥・肥料・排水維持管理	分析及び各部署への伝達	通年	環境計量室	
(7) グリーン購入率の向上	エコ商品購入品の推奨と管理	通年	総務部	
(8) 水使用量の削減	こまめな節水	通年	全社員	
環境改善	(1) ムリ・ムダ・ムラの排除	仕事内容の精査と見直し	通年	全社員
	(2) 場内全域の環境対策	鳥獣被害防止対策・飛散防止対策	通年	本社工場
		設備更新の実施		
	(3) 施設の改善	作業環境と効率アップの設備配置の検討	通年	倉橋工場
		搬入物の管理による処理計画と実施		
	(4) 在庫管理の強化	搬入物の管理による処理計画と実施	通年	倉橋工場
(5) 各環境測定の実施	ダイオキシン測定ほか	通年	本社工場	
(6) 交通事故防止	事故事例の再検証と啓発活動	通年	業務部	
コミュニケーション	(1) ステークホルダーからの要望への対応	お客様の要望・意見・提案を回覧と共有	通年	全部署
	(2) 社員とのつながり	毎月誕生日の人をお祝いする	通年	総務部
		永年勤続者の表彰		
	(3) 家族とのつながり	社内報の内容を充実させる	年2回	営業部
		家族会の企画・実施	6月	総務部
	(4) ステークホルダーとのつながりの拡充	地域清掃活動への参加	通年	営業部
	(5) 見学者の受け入れ拡充	部署間での事前協議	通年	営業部
(6) 福利厚生拡充	同好会の運営	通年	実行委員	
(7) 積極的な情報公開	ホームページの充実	通年	総務部	
教育	(1) 自社活動内容の理解度向上	年1回全体教育の実施	5月	EA21事務局
	(2) 資格取得へのチャレンジ	リストアップと計画取得	通年	全部署
	(3) 知識の向上	随時各講習会、講義の参加	通年	全部署
	(4) 緊急事態（自然災害）への対応	自然災害へのリスク調査（中期計画） 火災訓練等の実施	通年	全部署
安全衛生	(1) 1年間無事故無災害	指差し確認の徹底と啓発	通年	本社工場
				倉橋工場
				業務部
	(2) 交通事故の防止	事故事例の再検証	通年	業務部
	(3) 飲酒運転禁止	アルコールチェッカーの運用（基準値0mg）	通年	業務部 本社工場 営業部 倉橋工場
(4) 5S活動の推進 （整理・整頓・清掃・清潔・躰）	一仕事一片付けの推進	通年	全部署	
	毎週金曜日の清掃活動			
(5) 安全衛生協議	月次報告会の運用	月/1回	EA21事務局	
情報公開	(1) 廃棄物処理法の遵守	収集運搬業、処分業の許可更新	通年	全部署
	(2) 関連法規の遵守	関連書類の提出と保管	通年	全部署
	(3) 環境経営レポートの発行	11月初旬に57期版を発行	9~10月	EA21推進メンバー

作成日 2024年9月24日

私たちは31年前に今のNPO法人環境文明21を立ち上げ、当初から地球温暖化の科学やそれが与える影響、必要な対策や制度について提案し続けてきました。そして、今から11年ほど前に(株)カンサイの「環境力道場」が開始されましたが、その第1期からずっと、研修プログラムの中に地球環境問題を取り入れてきました。当時、参加していた皆さんにとっては、日常業務とあまり関係ないようなこの話題に、戸惑われた方もいるのではないかと思います。

しかしそれから10年も経たないうちに、地球の温暖化問題は気候変動問題となり、さらに気候危機として、今では世界中の多くの人がこの問題の深刻さを認識し始めています。「道場」の第1期生には非日常的な話だったものが、今ではカンサイのごく日常の業務の中で、普通に取引交わされる言葉となっています。

そのことは、カンサイが毎年発行しているこの「エコアクション21環境レポート」を見れば一目瞭然です。産廃業界でこれほど熱心に省エネや使用する施設の更新、さらに下水汚泥の有効利用などに心を砕いて日常業務に励んでいる会社はごく数少ないと思われます。これまでの基礎段階での知識の蓄積や、自らの現場での創意工夫が見事に活かされているのだと思います。

具体的には、難題であるロータリーキルンでのA重油使用によるCO₂排出量の増加や、建設部門での受注増加に伴うCO₂排出量の増加などが見られるものの、工場設備の更新や休憩室の完備、そして個々の部署での従業員の皆さんの日々の努力により、トータルのCO₂の排出量は前期より46.6 t 減少し前年比3.5%の削減となるなど、改善が見られます。

また、そうした環境改善だけでなく、業務に必要な資格と併せて、自己研鑽のための資格取得も進んでおり、これからの予測不可能な厳しい時代にも適応できるよう、従業員の皆さんが自ら積極的に取り組んでいることは、カンサイの将来にとっても、個々の従業員の皆さんのウェルビーイング（幸福）にとっても、本当に素晴らしいことだと思います。さらに今年はこれらに加えて、「健康経営」にも力を入れており、川本義二社長が掲げられた、「全従業員の物心両面の幸せを追求するとともに、人類と自然との調和を大切にする」という企業理念に沿った経営が、従業員の皆さんの間にも浸透しつつあるように感じます。

しかし、気候危機の状況はますます深刻化し、出来るだけ早い時期にCO₂の大幅削減を達成することが求められており、カンサイでも設備の更新などと併せて、化石燃料の使用量削減のための更なる工夫と努力が求められます。また、世界的な循環経済（サーキュラーエコノミー）の流れの中で、この業界に対しても、廃棄物処理の「受け手」から資源等の「創り手」への転換が求められており、処理困難物を受け入れるカンサイでも可能な限りリサイクルに努めることが求められます。

そうした中で、カンサイが健全な会社としてこれからも持続し活躍するには、カンサイが掲げる素晴らしい企業理念の更なる実現に向けて、環境力道場や各種研修、資格取得などを通じて自己研鑽を続けながら、互いのコミュニケーション力を高め、川本社長を中心とした「カンサイ」のチーム力を発揮することが何より大切です。

これからもOURカンパニーを目指して、みんなで力を合わせていきましょう。



2024年10月

環境文明研究所 加藤三郎、藤村コノエ

57期も、大きな事故や怪我無く無事に終わることが出来ました。無災害記録の継続、心より感謝申し上げます。

全従業員の物心両面の幸せを追求し、お客様やお取引先の皆様とのコミュニケーションを通じて、魅力を感じて頂ける会社にしていきたいと思います

株式会社 カンサイ

代表取締役 川本 義二

26 編集後記

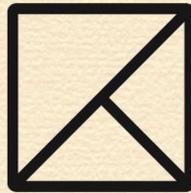
レポート発行に携わって早いもので12年が経ちました。環境力道場で、「どこに出しても恥ずかしくない環境レポートを発行しよう」と言うこととなり、加藤先生、藤村先生に協力頂きながら作成し始めました。46期当初の発行時には、事業活動に伴うCO₂をどのように把握し数値化するのかという初歩的なところから学び、発行までに数か月の時間を要しましたが、内容はカンサイの事業活動が一目で分かって頂けるように充実させてきました。

発行当初から、地球温暖化問題は待ったなしの課題ですよ！と加藤先生、藤村先生から教えて頂きましたが、この十数年は猛暑や豪雨災害を始めとする温暖化による影響が顕著にみられるようになりました。これは、過剰な豊かさを追い求めた結果で今後何十年もかけ取り組まないといけない問題で、その問題解決に特效薬はなく、ひとりひとりの心がけの集積が問題解決のポイントかなと感じます。このレポートも、発行当初は総務部の社員と二人で作っていましたが、今では、多くの社員に協力をしてもらっています。

皆で取り組んだ結果、CO₂排出量も大幅に削減できました。また、各部署の問題点や改善方法も明確になり、社員ひとりひとりの成長にも繋がりました。何より他者のことを思いやれる社内風土も根付き社内が明るくなりいいことばかりです。そして、そんな些細な心がけが他人への思いやりや地球温暖化問題の解決にもつながる重要ポイントだと気づきました。

環境管理責任者
北川 貴伸

株式会社カンサイは、
環境創造総合企業を目指しています



K Δ N S Δ I

株式会社 カンサイ

住 所 〒731-5102
広島市佐伯区五日市町大字石内
460番地

連 絡 先 TEL:(082)941-1641
FAX:(082)941-1715
E-mail:kansai@ekansai.co.jp

発行責任者 環境管理責任者・北川
エコアクション21事務局・金子